

ざっくり
黙示録

12

新天新地

黙示録21～22章 新天新地 天のエルサレム

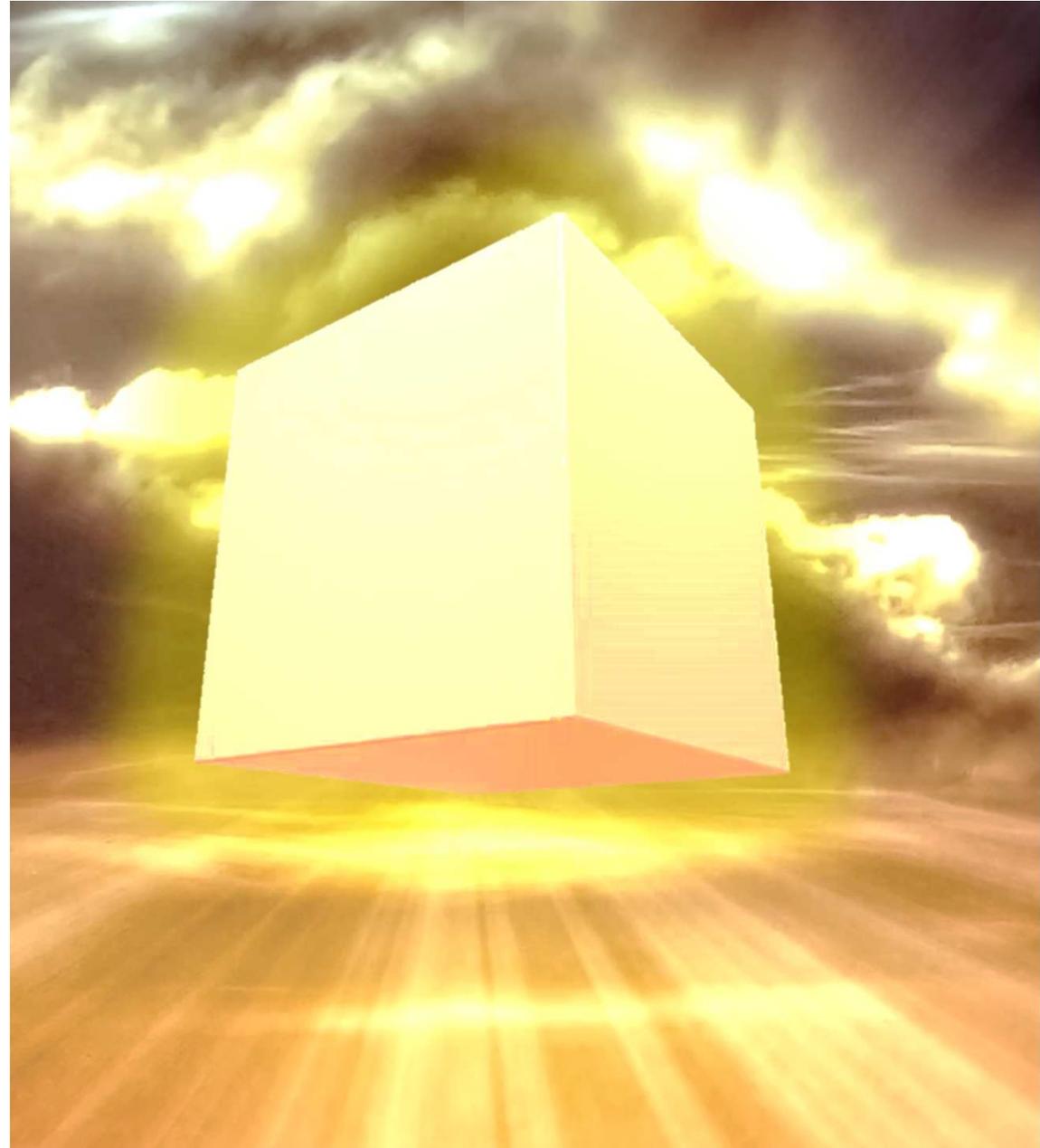
アウトライン

0. ふりかえり

I. 新天新地

II. あとがき

III. 究極のゴールを
心に刻もう



0. 終末のおさらい

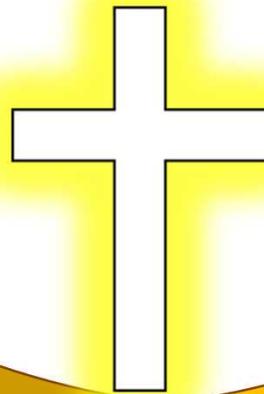


聖書の世界観には、初めがあり、終わりがある

天地創造
人類の墮罪

キリストの
十字架の
死と復活

世界の回復
キリストの
再臨



ゴールは、世界の回復。理想世界の実現

★図で見る黙示録★

【パラダイス】



【天上の礼拝】



4章

キリストの再臨



【千年王国】

20章4～25節



【新天新地】

21～22章5節

聖霊降臨

教会の携挙



【教会時代】

2～3章



【大患難時代】

5～20章3節



【シエオール(陰府)】

白い御座の裁き

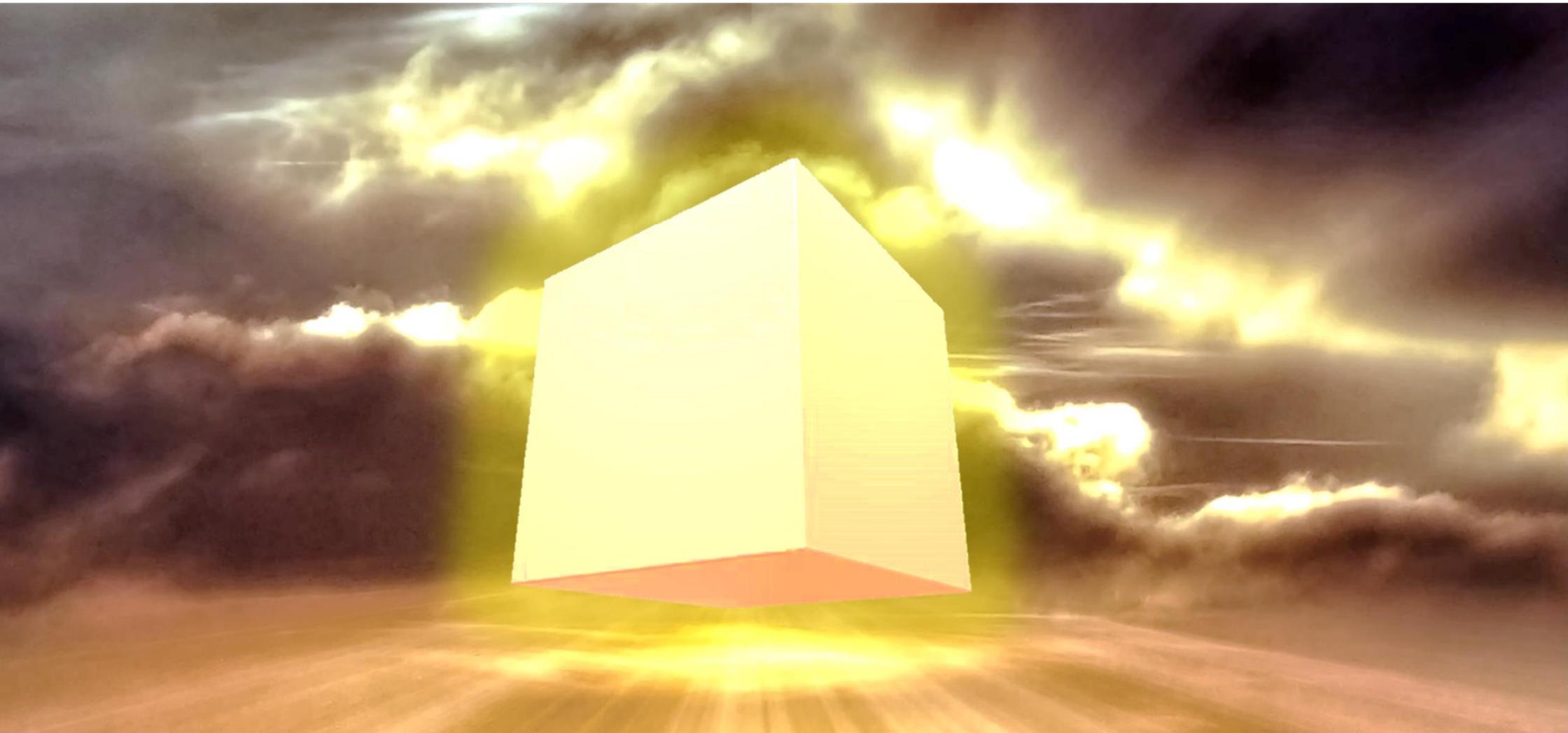


ゲヘナ(地獄)】



黙示録アウトライン

序文	栄光のキリストとの遭遇	1章
教会時代(現在)	教会への励ましと警告	2～3章
天上の礼拝	教会の携挙～天上の礼拝	4～5章
大艱難時代	大艱難時代に起こること キリストの再臨	6章～20章3節
千年王国	千年王国の様子 白い御座の裁き(最終的裁き)	20章4節～25節
新天新地	地に降る天のエルサレム 永遠の神の王国	21章1節～22章5節
結論	イエスの宣言と招き 警告と約束	22章6～21節



I. 新天新地

默示錄21:1~22:5

【新天新地】 黙示録21:1

また私は、**新しい天と新しい地***を見た。以前の**天と以前の地***は過ぎ去り、もはや**海もない***。

*完全に刷新された世界が、「**新天新地**」

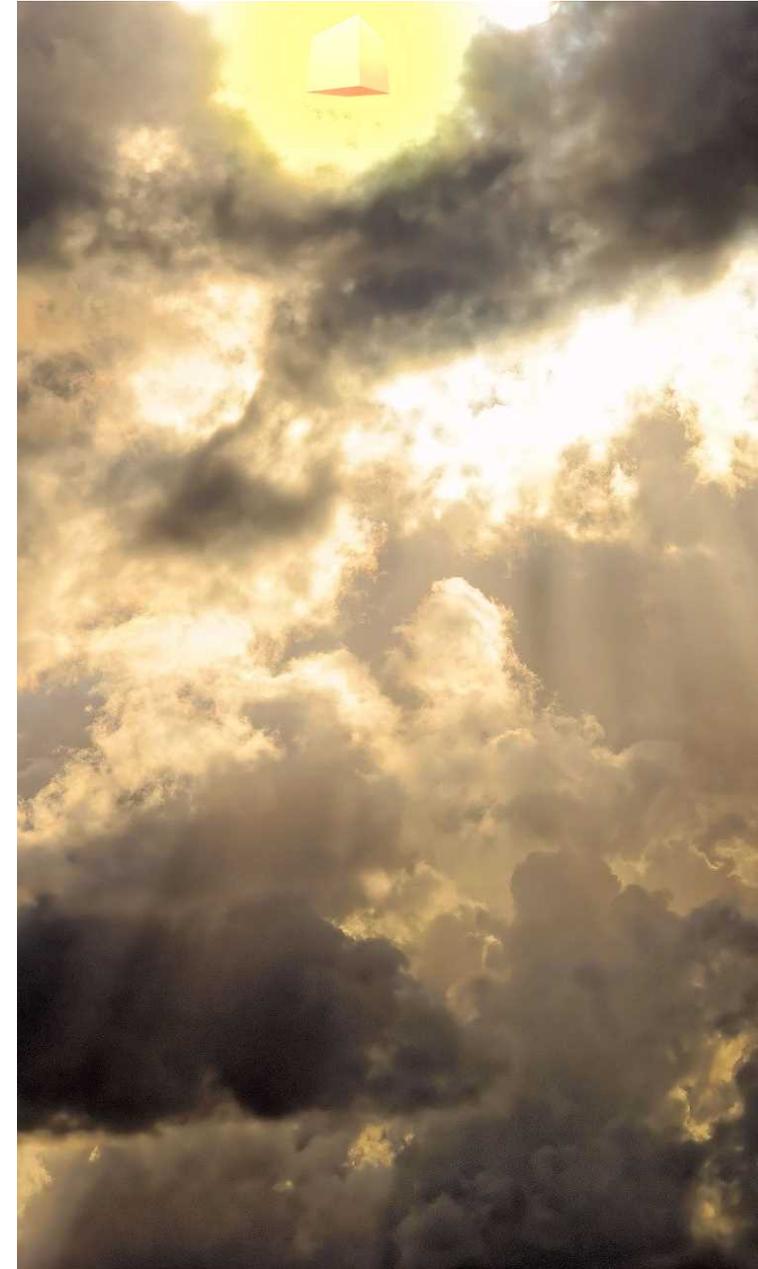
➡今の天地とも千年王国の天地とも異なる

*現在の天地は完全に消え去る。

「マタ24:35 **天地***は消え去ります。しかし、わたしの**ことば**は決して消え去ることがありません。」

*新天新地に**海**はない。

海は、裁きの象徴。 ➡もう裁きはない！



【天のエルサレム】 黙示録21:2

私はまた、聖なる都、**新しいエルサレム***が、夫のために飾られた花嫁のように整えられて、神のみもとから、天から降って来るのを見た。

***天にあるエルサレム**が、本体。本物。

主が住まわれている真実の永遠の都。

地上のエルサレムは、本物の影に過ぎない。

「ガラ4:26 しかし、**上にあるエルサレム**は自由の女であり、私たちの母です。」



【悲しみのない世界】 黙示録21:3～4

私はまた、大きな声が御座から出て、こう言うのを聞いた。「見よ、**神の幕屋***が人々とともにある。**神**は人々とともに住み、人々は神の民となる。神ご自身が彼らの神として、ともにおられる。

神は彼らの目から涙をことごとくぬぐい取ってくださる。もはや死はなく、悲しみも、叫び声も、苦しみもない。***以前のもものが過ぎ去ったからである。***

***神ご自身が、幕屋であり神殿。**

➡すべての人は神の臨在のただ中にいる。

***あらゆる苦痛も悲哀も取り去られた世界。**



【アルファでありオメガ】 黙示録21:5~7

すると、御座に座っておられる方が言われた。「見よ、わたしはすべてを新しくする。」また言われた。「書き記せ。これらのことばは真実であり、信頼できる。」また私に言われた。「事は成就した。わたしはアルファであり、オメガ*である。初めであり、終わりである。わたしは渇く者に、いのちの水の泉からただで飲ませる。

*A to Z ...主イエスは、時空を超越した神である。



【二つの結末の再確認】 黙示録21:7～8

勝利を得る者は、**これらのもの***を相続する。わたしは彼の神となり、彼はわたしの子となる。

しかし、臆病な者、不信仰な者、忌まわしい者、人を殺す者、淫らなことを行う者、魔術を行う者、偶像を拝む者、すべて偽りを言う者たちが受ける分は、火と硫黄の燃える池の中にある。これが**第二の死***である。」

*すべての信者 ➡永遠の王国・新天新地を相続。

*すべての不信者 ➡永遠の滅び・燃える火の池へ。



【天のエルサレム】 黙示録21:9～10

また、最後の七つの災害*で満ちた、あの七つの鉢を持っていた七人の御使いの一人がやって来て、私に語りかけた。「ここに来なさい。あなたに**子羊の妻である花嫁***を見せましょう。」

そして、御使いは御霊によって私を大きな高い山に連れて行き、**聖なる都エルサレム**が神のみもとから、天から降って来るのを見せた。

*七つの鉢の裁き ...大患難の最終段階(16章)

*すべての信者が最終的に住まうところ。

➡すべての信者は、主イエスの花嫁。



【栄光に輝く都エルサレム】 黙示録21:11～14
都には**神の栄光**があった。その輝きは最高の宝石に似ていて、透き通った碧玉のようであった。都には、大きな高い城壁があり、**十二の門**があった。門の上には十二人の御使いがいた。また、名前が刻まれていたが、それは**イスラエルの子らの十二部族**の名前であった。

東に三つの門、北に三つの門、南に三つの門、西に三つの門があった。

都の城壁には**十二の土台石**があり、それには、子羊の**十二使徒**の、**十二の名**が刻まれていた。

■永遠に覚えられる**イスラエル12部族**と**12弟子**



【天のエルサレムの全容】 黙示録21:15～18

また、私に語りかけた御使いは、都とその門と城壁を測るために金の測り竿を持っていた。

都は四角形で、長さとは幅は同じである。御使いが都をその竿で測ると、**一万二千スタディオン***あった。長さも幅も高さも同じである。

また城壁を測ると、**百四十四ペキス***あった。これは人間の尺度であるが、御使いの尺度も同じであった。都の城壁は碧玉で造られ、都は透き通ったガラスに似た純金でできていた。

*2200km ➡月の半分くらいの容積。

*城壁の高さ ➡65m



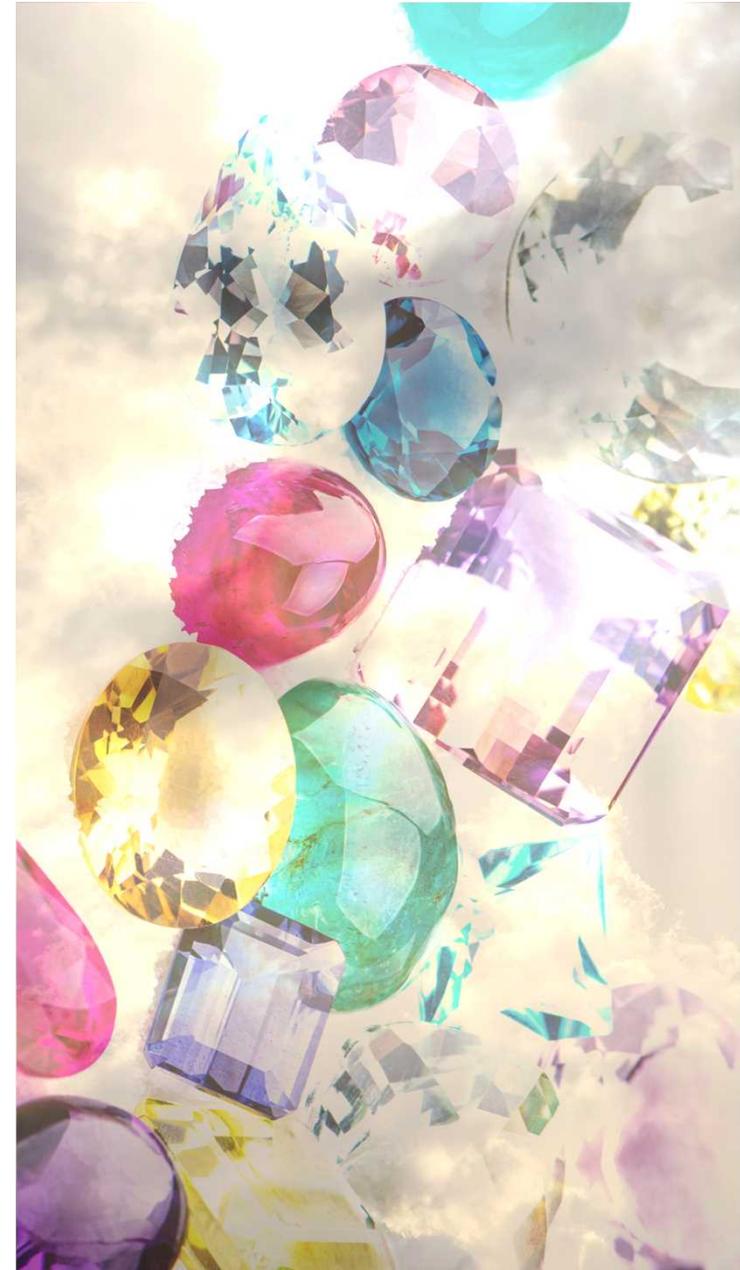
【城壁の土台石と門】 黙示録21:19～21

都の城壁の土台石はあらゆる**宝石**で飾られていた。第一の土台石は碧玉、第二はサファイア、第三はめのう、第四はエメラルド、第五は赤縞めのう、第六は赤めのう、第七は貴かんらん石、第八は緑柱石、第九はトパーズ、第十はひすい、第十一は青玉、第十二は紫水晶であった。

十二の門は十二の**真珠**であり、どの門もそれぞれ一つの真珠からできていた。都の大通りは純金で、透明なガラスのようであった。

■畑に隠された**宝**(ユダヤ人信者) マタ13:44

海の中の**真珠**(離散のユダヤ人信者) マタ13:45



【都の神殿・都の明かり】 黙示録21:22～24

私は、この都の中に神殿を見なかった。全能の神である主と子羊が、都の神殿だからである。

都は、これを照らす太陽も月も必要としない。神の栄光が都を照らし、子羊が都の明かりだからである。

諸国の民は都の光によって歩み、地の王たちは自分たちの栄光を都に携えて来る。

*三位一体の神ご自身が、都の神殿。

*神ご自身の栄光が、都を照らす。

*すべての信者には栄光の体を与えられている。



【子羊のいのちの書】 黙示録21:25～27

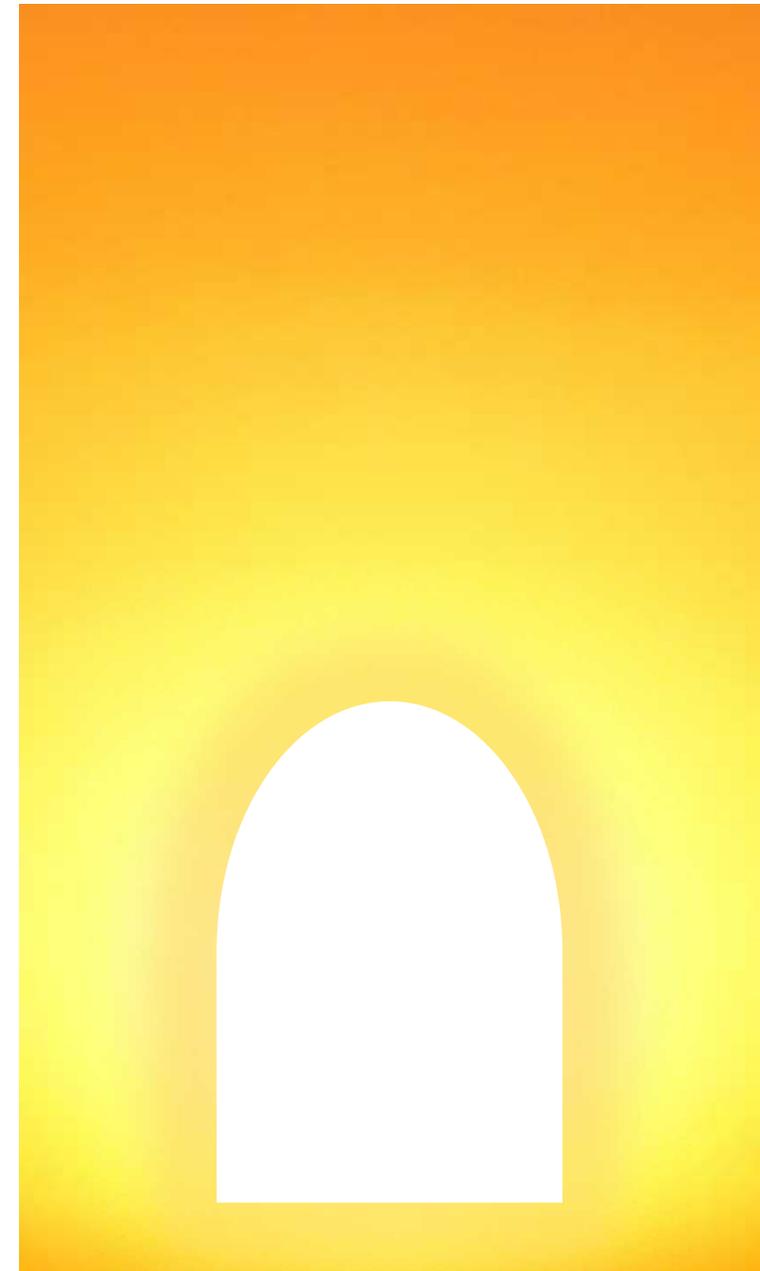
都の門は一日中、決して閉じられない。そこには夜がないからである。

こうして人々は、諸国の民の栄光と誉れを都に携えて来ることになる。

しかし、すべての汚れたもの、また忌まわしいことや偽りを行う者は、決して都に入れない。入ることができるのは、**子羊のいのちの書***に記されている者たちだけである。

***主を信じて救われた者の名が記される書。**

➡いのちの書 ...すべての名が記された書
滅ぶ者の名は消される



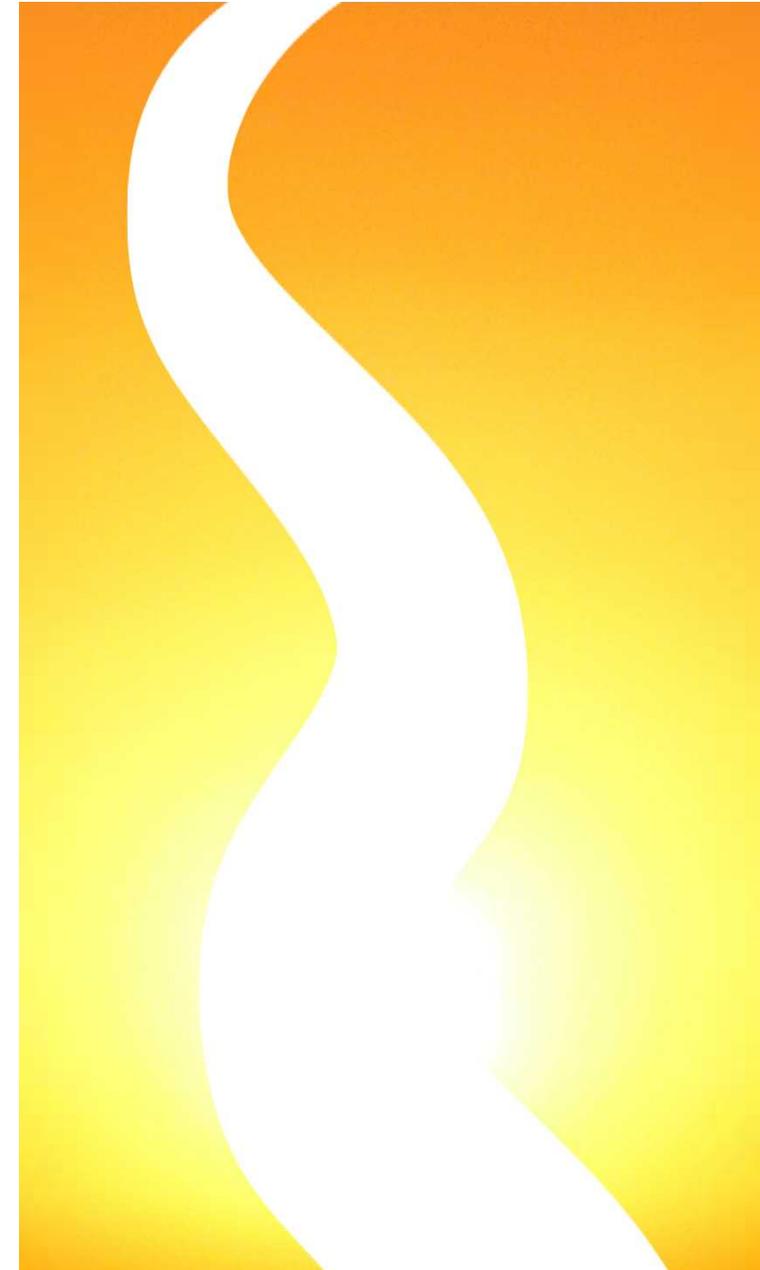
【いのちの川・いのちの木】 黙示録22:1~2

御使いはまた、水晶のように輝く、いのちの水の川を私に見せた。川は神と子羊の御座から出て、都の大通りの中央を流れていた。こちら側にも、あちら側にも、十二の実をならせるいのちの木*があって、毎月一つの実を結んでいた。その木の葉は諸国の民を癒やした。*

*エデンの園にもあった。

➡ 墮罪以降食べることを禁じられた。

* 新天新地に病気はないということ。



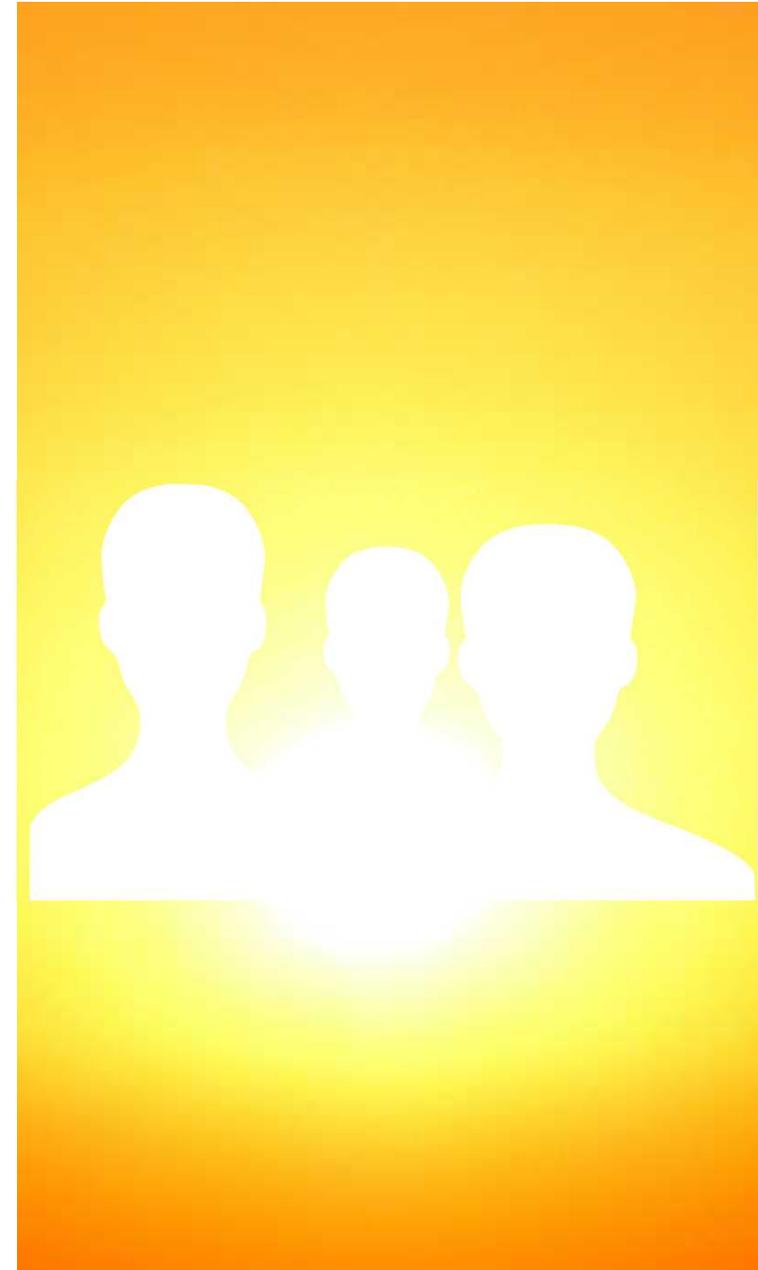
【祝福だけの世界】 黙示録22:3～5

もはや、のろわれるものは何もない。*神と子羊の御座が都の中にあり、神のしもべたちは神に仕え、御顔を仰ぎ見る。*また、彼らの額には神の御名が記されている。

もはや夜がない。神である主が彼らを照らされるので、ともしびの光も太陽の光もいらない。彼らは世々限りなく王として治める。

*神と断絶されたものは、一切存在しない。

*すべての人は恐れなく、ただ主を仰ぎ見る。





II. 聖書の結論 黙示録22:6~21

Text from the scroll, including the title and the beginning of the text: II. 聖書の結論 黙示録22:6~21

【黙示録を学ぶ祝福】 黙示録22:6~7

御使いは私に言った。「これらのことばは真実であり、信頼できます。」 預言者たちに霊を授ける神である主は、御使いを遣わして、**すぐに起こるべきこと***をしもべたちに示された。

「見よ、わたしは**すぐに来る。*** この書の預言のことばを守る者は**幸い***である。」

***神の時が来れば、すぐに起きる。時は近い。**

***黙示録を学び、生かす者には祝福がある。**

➡**明確に祝福が約束された特別な書。**

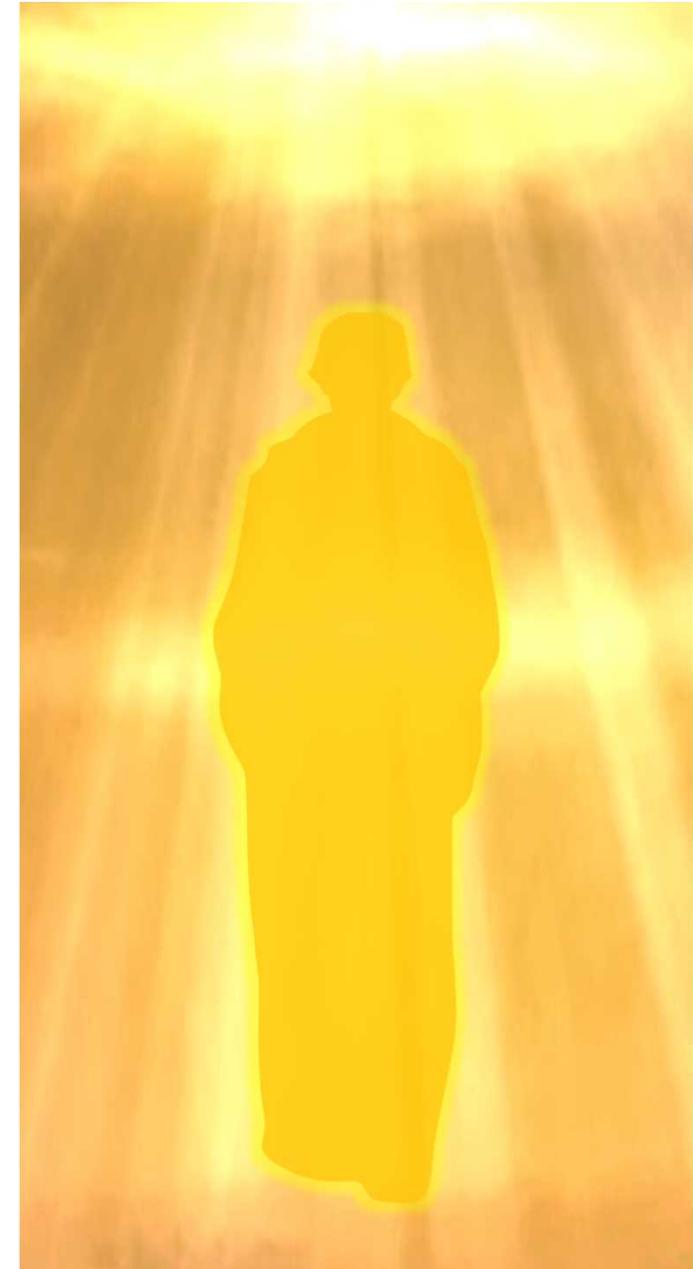


【御使いの制止】 黙示録22:8～9

これらのことを聞き、また見たのは、私ヨハネである。私は、聞いたり見たりした後に、これらのことを示してくれた御使いの足もとにひれ伏して、礼拝しようとした。

すると、御使いは私に言った。「いけません。私はあなたや、預言者であるあなたの兄弟たち、この書のことばを守る人々と同じしもべです。神を礼拝しなさい。」

- 聖書は天使礼拝を堅く禁じる。これも偶像礼拝。
➡ 主イエスは礼拝の対象。断じて天使ではない。



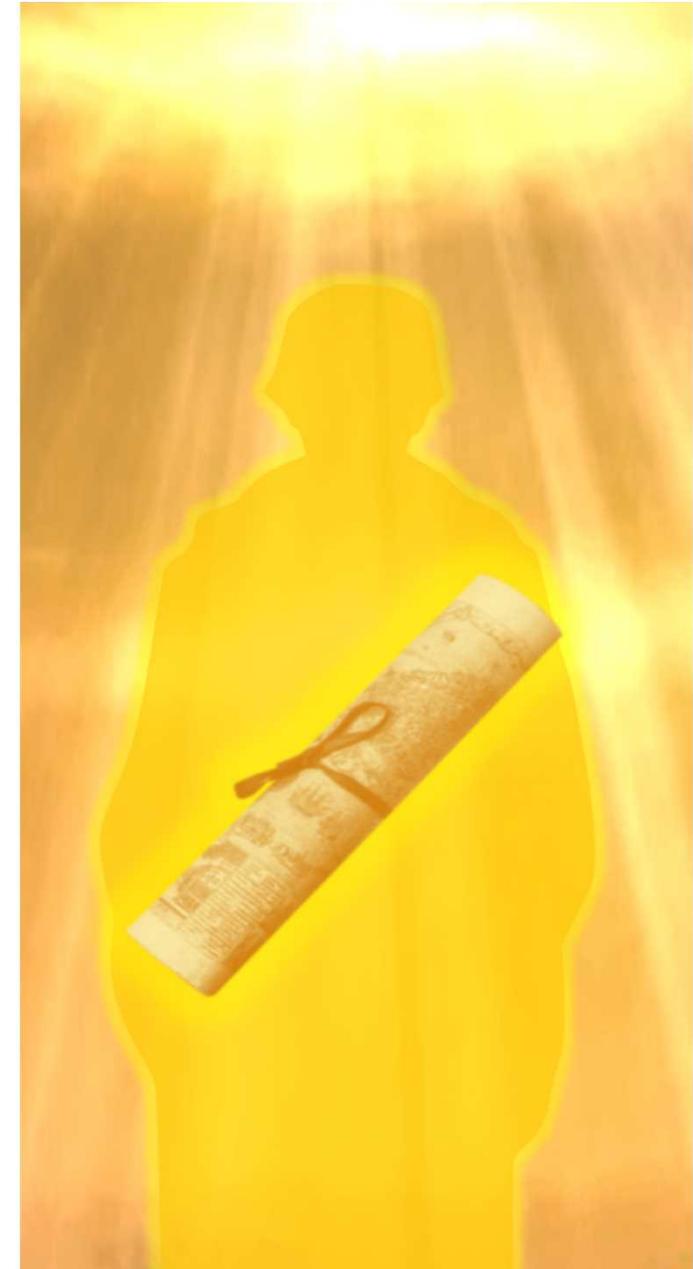
【預言の通りに進む世界】 黙示録22:10～11

また私に言った。「この書の預言のことばを封じてはなりません。時が近いからです。

不正を行う者には、ますます不正を行わせ、汚れた者は、ますます汚れた者とならせなさい。

正しい者には、ますます正しいことを行わせ、聖なる者は、ますます聖なる者とならせなさい。」

■ 世の終わりが近づくにつれ、人の生き方は、善と悪と、ますます両極端に分かれていく。



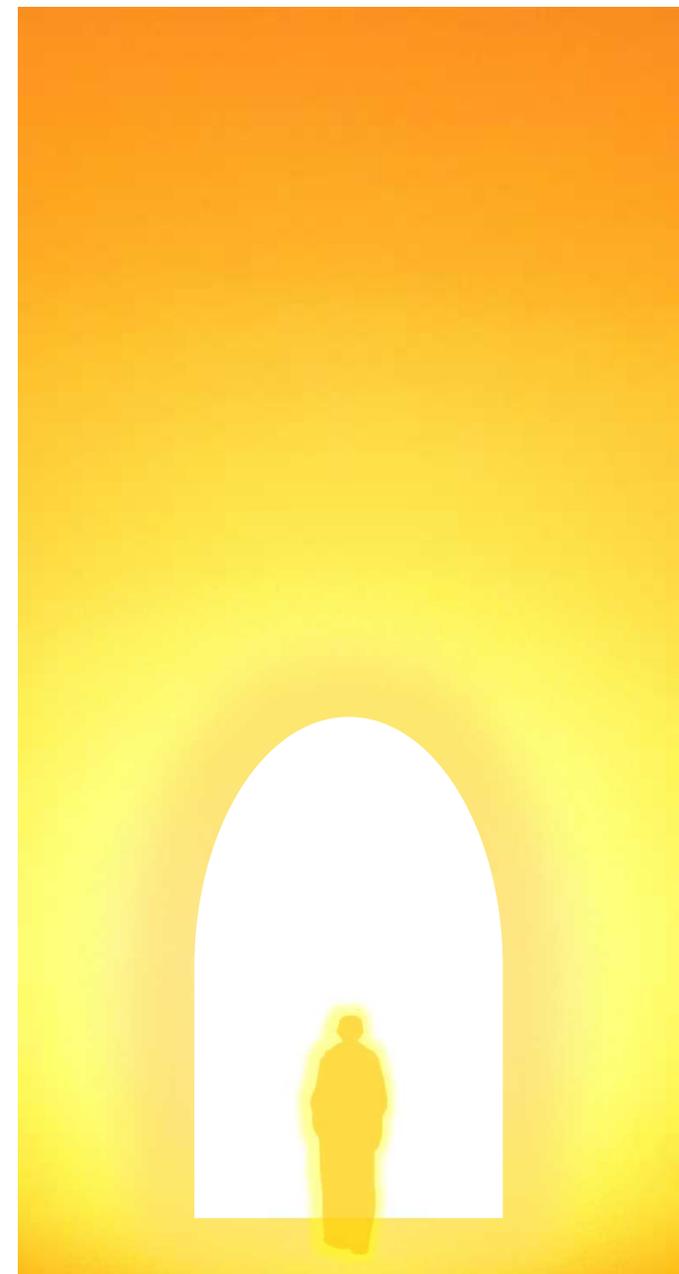
【主イエスの宣言】 黙示録22:12～15

「見よ、わたしはすぐに来る。それぞれの行いに
応じて報いるために、わたしは報いを携えて来る。
わたしはアルファであり、オメガである。最初で
あり、最後である。初めであり、終わりである。」

自分の衣を洗う者たち*は幸いである。彼らはい
のちの木の実を食べる特権が与えられ、門を通っ
て都に入れるようになる。

犬ども、魔術を行う者、淫らなことを行う者、人
を殺す者、偶像を拝む者、すべて偽りを好み、ま
た行う者は、外にとどめられる。

*罪をきよめられ、復活する信者たち。



【主イエスこそメシア】 黙示録22:16～17

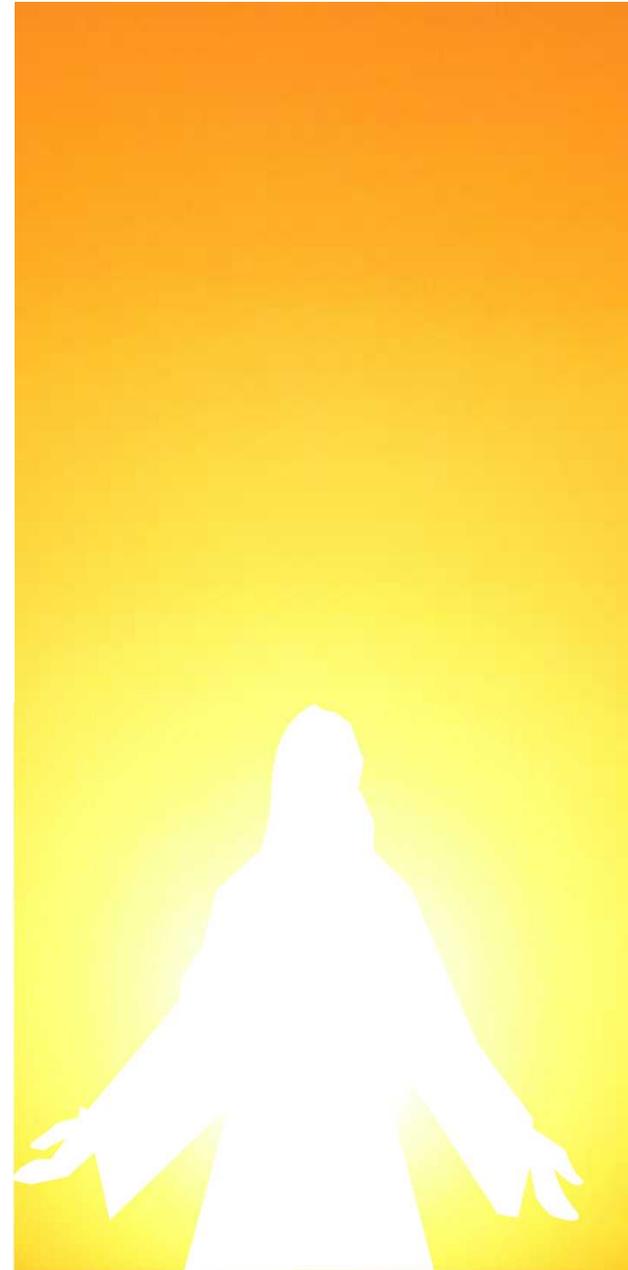
「わたしイエスは御使いを遣わし、諸教会について、これらのことをあなたがたに証した。わたしはダビデの根、また子孫、輝く明けの明星である。」

御霊と花嫁が言う。「来てください。*」これを聞く者も「来てください」と言いなさい。渇く者は来なさい。いのちの水が欲しい者は、ただで受けなさい。

*主イエスに対しては、「来てください。」

人々に対しては、「来なさい。」

■ マラナ・タ「主よ、来たりたまえ」と
主に呼びかけることが求められている。



【警告】 黙示録22:18～19

私は、この書の預言のことばを聞くすべての者に証しする。もし、だれかがこれにつけ加えるなら、神がその者に、この書に書かれている災害を加えられる。また、もし、だれかがこの預言の書のことばから何かを取り除くなら、神は、この書に書かれているいのちの木と聖なる都から、その者の受ける分を取り除かれる。

- 黙示録の預言に、勝手に追記や削除を行う者は、主によって裁かれ、永遠の滅びにいたる。



【マラナタ】 黙示録22:20～21

これらのことを証しする方が言われる。

「しかり、わたしはすぐに来る。」

アーメン。主イエスよ、**来てください。***

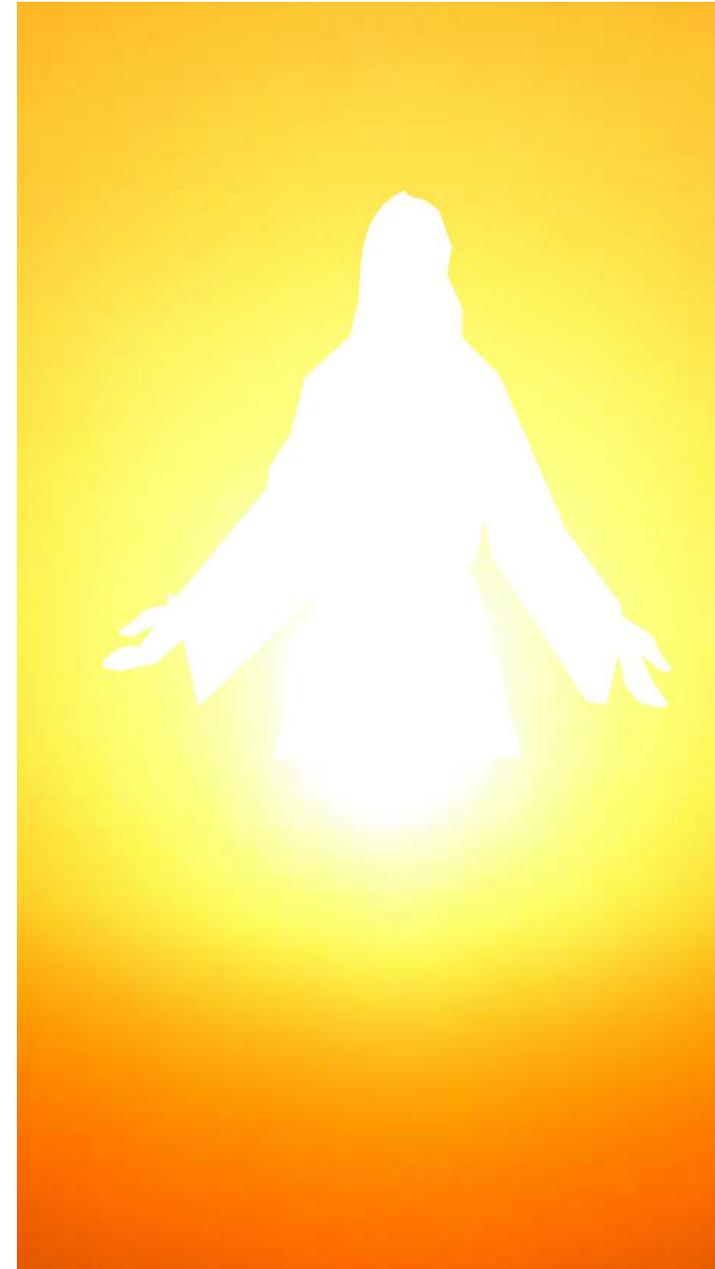
主イエスの恵みが、すべての者とともにありますように。

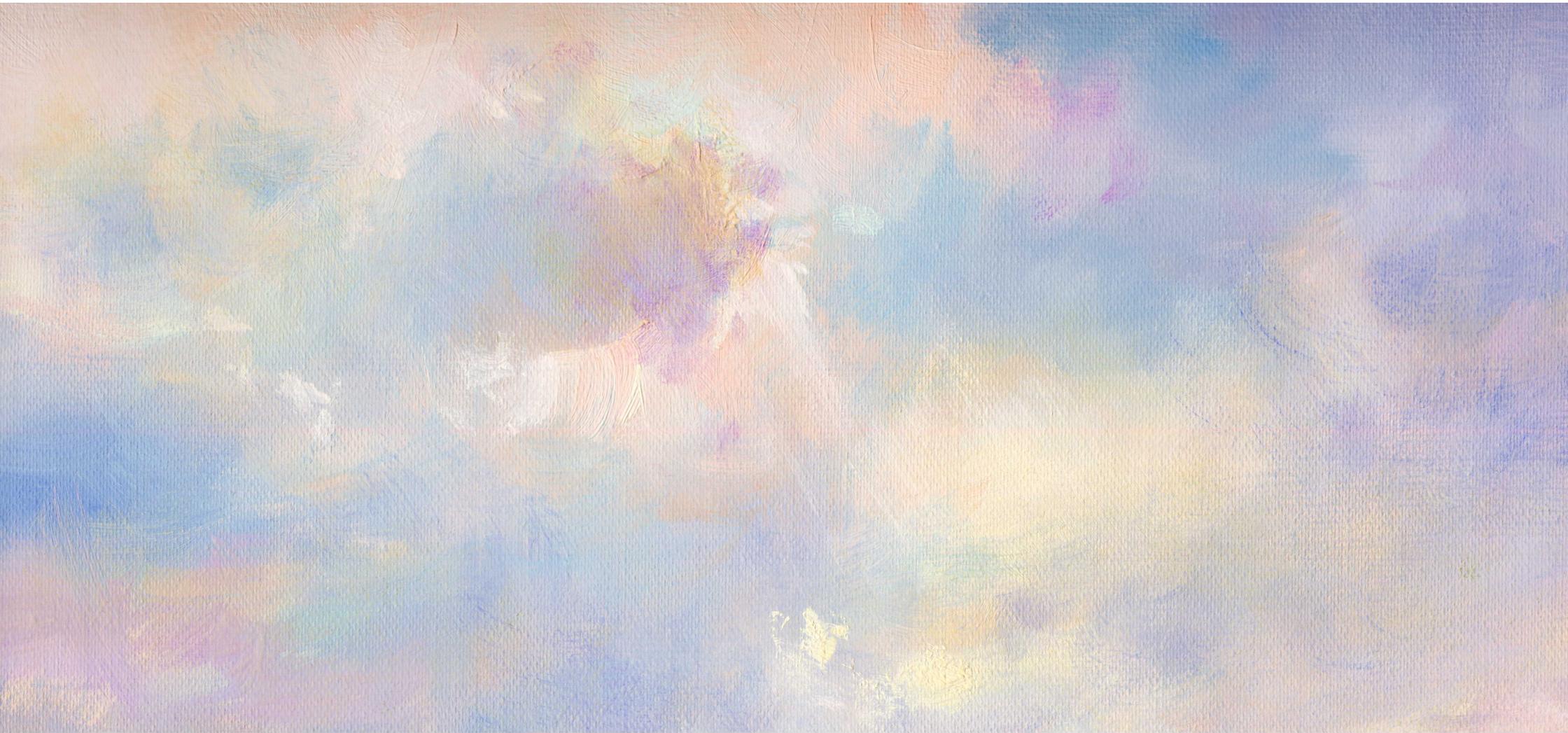
* **マラナ・タ** ...アラム語から来た言葉。

➔ 約時代の聖徒たちの挨拶だった。

■ 主イエスは、すぐにもやってくる。

携拳はいつでも起こり得る。求められる備え。



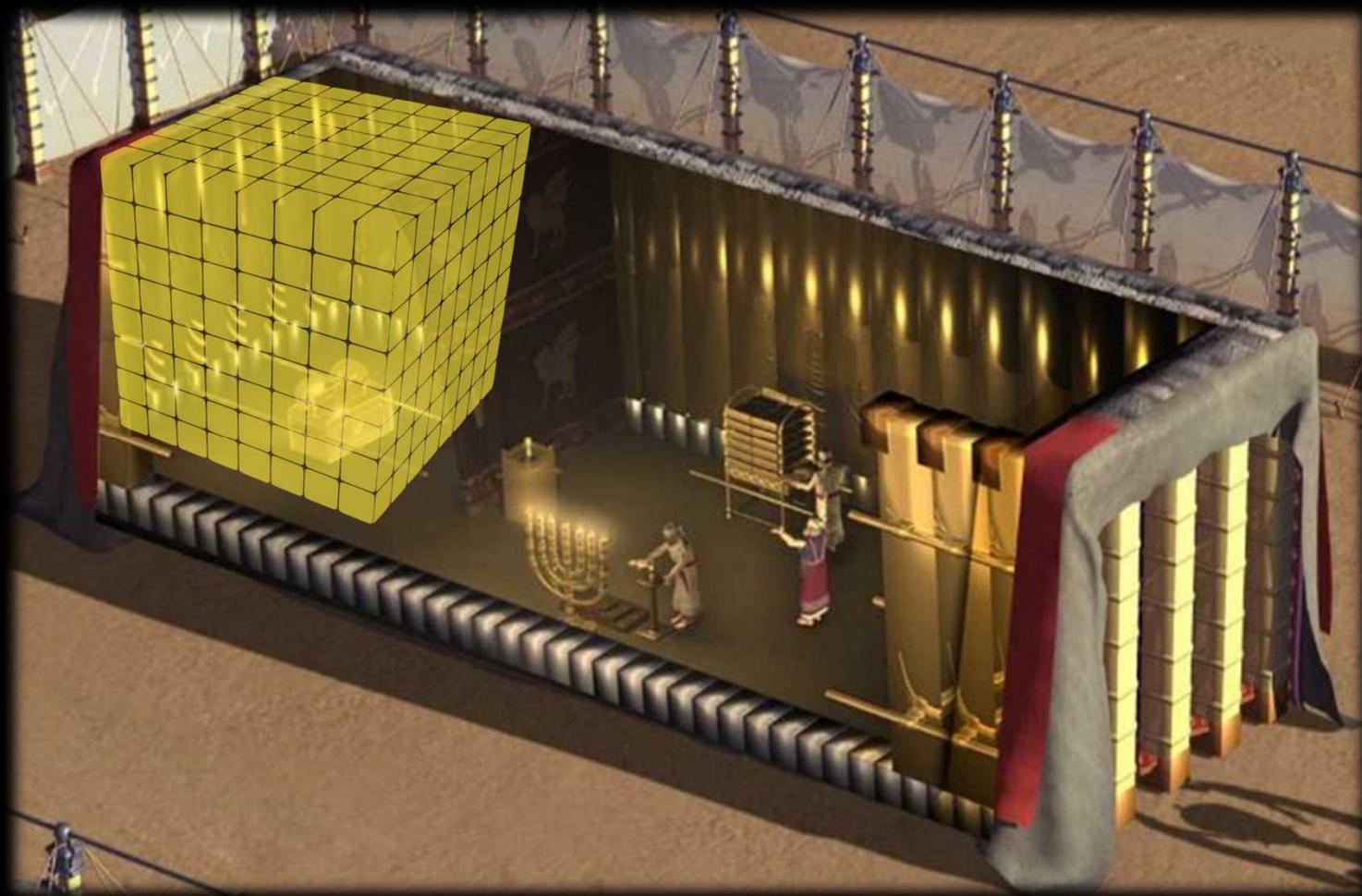


Ⅲ. 究極のゴールを心に刻もう

【幕屋の至聖所は、天のエルサレムの影】

★天のエルサレム
2,200kmの立方体

★至聖所
4.4mの立方体
(50万分の1)



【新天新地とは？】

■完璧な世界。天のエルサレムが地に下りる ➡天地が一体！

■天のエルサレム。三位一体の神が住まわれる永遠の都。

一片2,200kmの巨大な立方体(月の半分の容積)。

東西南北に、イスラエル12部族の名を記した12の門。

城壁(高さ65m)の土台石には12弟子の名が刻まれる。

透き通った純金。城壁は碧玉。土台石は12の宝石。

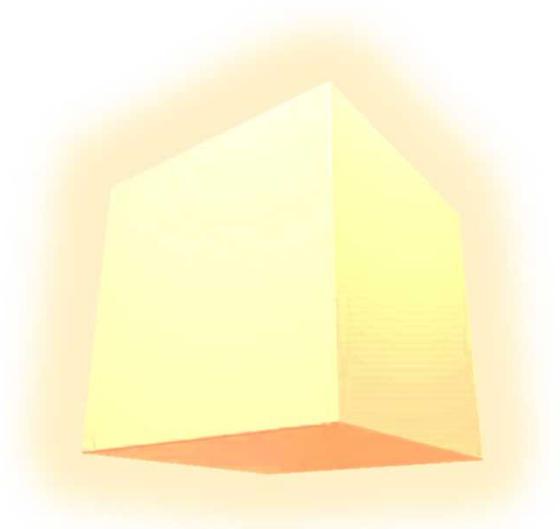
12の門は12の巨大な真珠。

いのちの水の川。12の実を結ぶいのちの木。

■神ご自身が神殿。神の栄光が都の光。

栄光の体となった信者には、病気や苦痛はない。

夜も闇もない。神との断絶も存在しない。



天地創造
創世記1章1節

エデンの園(地)の再創造
創世記1章3〜2節

←天使の
墮落

最初のアダム
←人の墮落

キリストの十字架

最後のアダム
キリストの
再臨→

墮天使(悪魔)の
最終的裁き→

千年王国
黙示録20章1〜6節

新天新地
黙示録21〜22章

現在(教会時代)

新天新地 完全に回復され、完成された世界

■罪によって壊れた世界に生じたもの

・死(神との断絶) ・闇 ・混沌 ・病気 ・争い ・災害 ・恐怖

■新天新地で完全に回復されるもの

・永遠の命 ・神の栄光 ・神の支配 ・神との平和 ・世界平和 ・平安

■サタンと人間の罪によって壊れた**天地の完全な回復**が新天新地。

異なる次元、異なる物質、異なる法則による**全く新しい世界**。

■罪により、地上を去った**神の栄光**が天地のすべてを照らす。

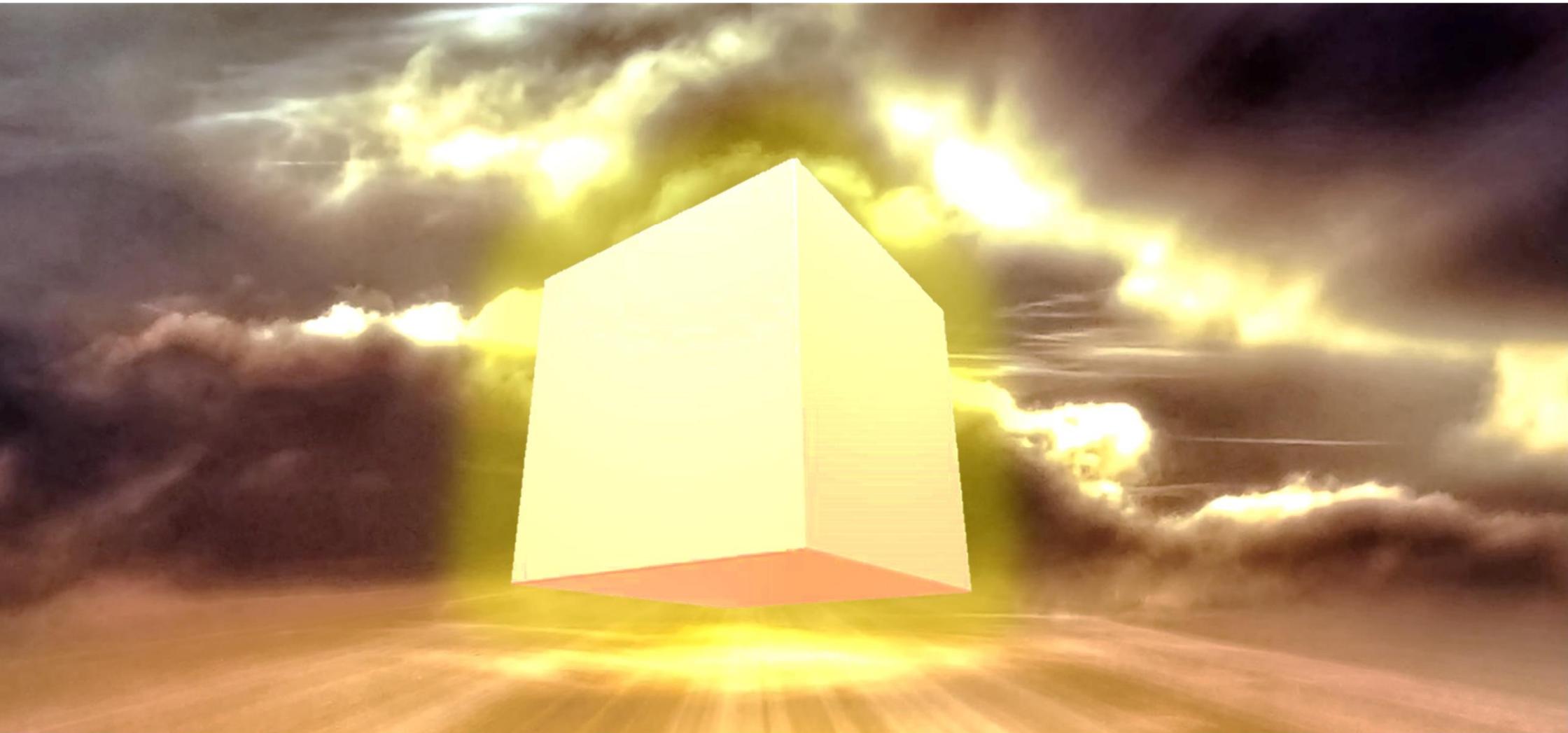
神との断絶はない。死はない。神の内に**すべてが神と共にある**。

【今、現在の視点から】

- コロナ禍に入って1年。大阪で感染爆発。日本に第四波か？
世界的にも、第二波に入りつつある。
- 強力なロックダウンと合わせてワクチン接種を進める国々が沈静化。
 - ➡ 現在唯一の希望がワクチンだが、日本の摂取は遅々として進まず。
 - ➡ コロナ禍をいち早く抜けた国が、次代の主導権を得ていこう。ワクチン接種で頭一つ飛び出ているのが、イスラエル。
- イスラエルは物質的に繁栄し、世界的な影響力も増していこう。一方で、反ユダヤ主義も世界中でこれまでになく高まっていこう。
- 終末のタイムスケジュールは、刻々と刻まれていっている。

黙示録アウトライン

序 文	栄光のキリストとの遭遇	1章
教会時代(現在)	教会への励ましと警告	2～3章
天上の礼拝	教会の携挙～天上の礼拝	4～5章
大艱難時代	大艱難時代に起こること キリストの再臨	6章～20章3節
千年王国	千年王国の様子 白い御座の裁き(最終的裁き)	20章4節～25節
新天新地	地に降る天のエルサレム 永遠の神の王国	21章1節～22章5節
結 論	イエスの宣言と招き 警告と約束	22章6～21節



I. 新天新地

默示錄21:1~22:5

【新天新地】 黙示録21:1

また私は、**新しい天と新しい地***を見た。以前の**天と以前の地***は過ぎ去り、もはや**海もない***。

*完全に刷新された世界が、「**新天新地**」

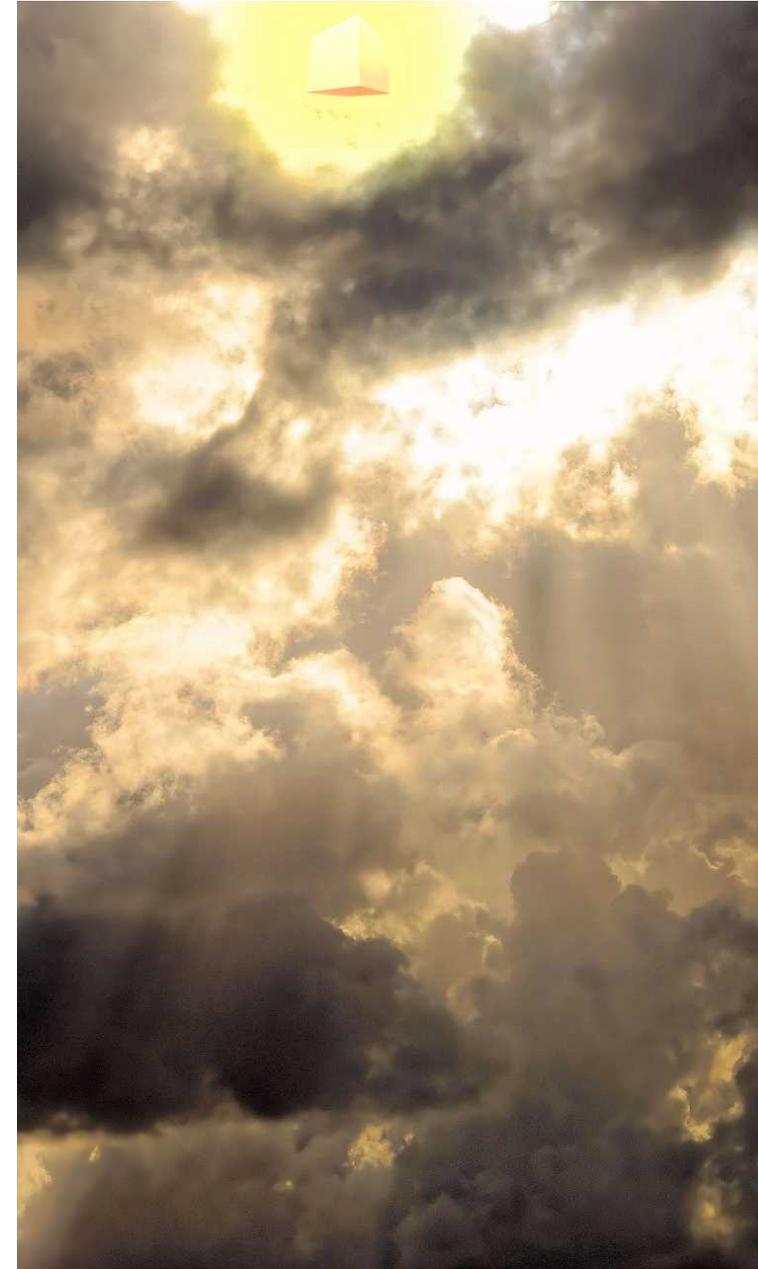
➡今の天地とも千年王国の天地とも異なる

*現在の天地は完全に消え去る。

「マタ24:35 **天地***は消え去ります。しかし、わたしの**ことば**は決して消え去ることがありません。」

*新天新地に**海**はない。

海は、裁きの象徴。 ➡もう裁きはない！



【天のエルサレム】 黙示録21:2

私はまた、聖なる都、**新しいエルサレム***が、夫のために飾られた花嫁のように整えられて、神のみもとから、天から降って来るのを見た。

***天にあるエルサレム**が、本体。本物。

主が住まわれている真実の永遠の都。

地上のエルサレムは、本物の影に過ぎない。

「ガラ4:26 しかし、**上にあるエルサレム**は自由の女であり、私たちの母です。」



【悲しみのない世界】 黙示録21:3～4

私はまた、大きな声が御座から出て、こう言うのを聞いた。「見よ、**神の幕屋***が人々とともにある。**神**は人々とともに住み、人々は神の民となる。神ご自身が彼らの神として、ともにおられる。

神は彼らの目から涙をことごとくぬぐい取ってくださる。もはや死はなく、悲しみも、叫び声も、苦しみもない。***以前のもものが過ぎ去ったからである。***

***神ご自身が、幕屋であり神殿。**

➡すべての人は神の臨在のただ中にいる。

***あらゆる苦痛も悲哀も取り去られた世界。**



【アルファでありオメガ】 黙示録21:5~7

すると、御座に座っておられる方が言われた。「見よ、わたしはすべてを新しくする。」また言われた。「書き記せ。これらのことばは真実であり、信頼できる。」また私に言われた。「事は成就した。わたしはアルファであり、オメガ*である。初めであり、終わりである。わたしは渇く者に、いのちの水の泉からただで飲ませる。

*A to Z ...主イエスは、時空を超越した神である。



【二つの結末の再確認】 黙示録21:7～8

勝利を得る者は、**これらのもの***を相続する。わたしは彼の神となり、彼はわたしの子となる。

しかし、臆病な者、不信仰な者、忌まわしい者、人を殺す者、淫らなことを行う者、魔術を行う者、偶像を拝む者、すべて偽りを言う者たちが受ける分は、火と硫黄の燃える池の中にある。これが**第二の死***である。」

*すべての信者 ➡永遠の王国・新天新地を相続。

*すべての不信者 ➡永遠の滅び・燃える火の池へ。



【天のエルサレム】 黙示録21:9～10

また、最後の七つの災害*で満ちた、あの七つの鉢を持っていた七人の御使いの一人がやって来て、私に語りかけた。「ここに来なさい。あなたに**子羊の妻である花嫁***を見せましょう。」

そして、御使いは御霊によって私を大きな高い山に連れて行き、**聖なる都エルサレム**が神のみもとから、天から降って来るのを見せた。

*七つの鉢の裁き ...大患難の最終段階(16章)

*すべての信者が最終的に住まうところ。

➡すべての信者は、主イエスの花嫁。



【栄光に輝く都エルサレム】 黙示録21:11～14
都には**神の栄光**があった。その輝きは最高の宝石に似ていて、透き通った碧玉のようであった。都には、大きな高い城壁があり、**十二の門**があった。門の上には十二人の御使いがいた。また、名前が刻まれていたが、それは**イスラエルの子らの十二部族**の名前であった。

東に三つの門、北に三つの門、南に三つの門、西に三つの門があった。

都の城壁には**十二の土台石**があり、それには、子羊の**十二使徒**の、**十二の名**が刻まれていた。

■永遠に覚えられる**イスラエル12部族**と**12弟子**



【天のエルサレムの全容】 黙示録21:15～18

また、私に語りかけた御使いは、都とその門と城壁を測るために金の測り竿を持っていた。

都は四角形で、長さとは幅は同じである。御使いが都をその竿で測ると、**一万二千スタディオン***あった。長さも幅も高さも同じである。

また城壁を測ると、**百四十四ペキス***あった。これは人間の尺度であるが、御使いの尺度も同じであった。都の城壁は碧玉で造られ、都は透き通ったガラスに似た純金でできていた。

*2200km ➡月の半分くらいの容積。

*城壁の高さ ➡65m



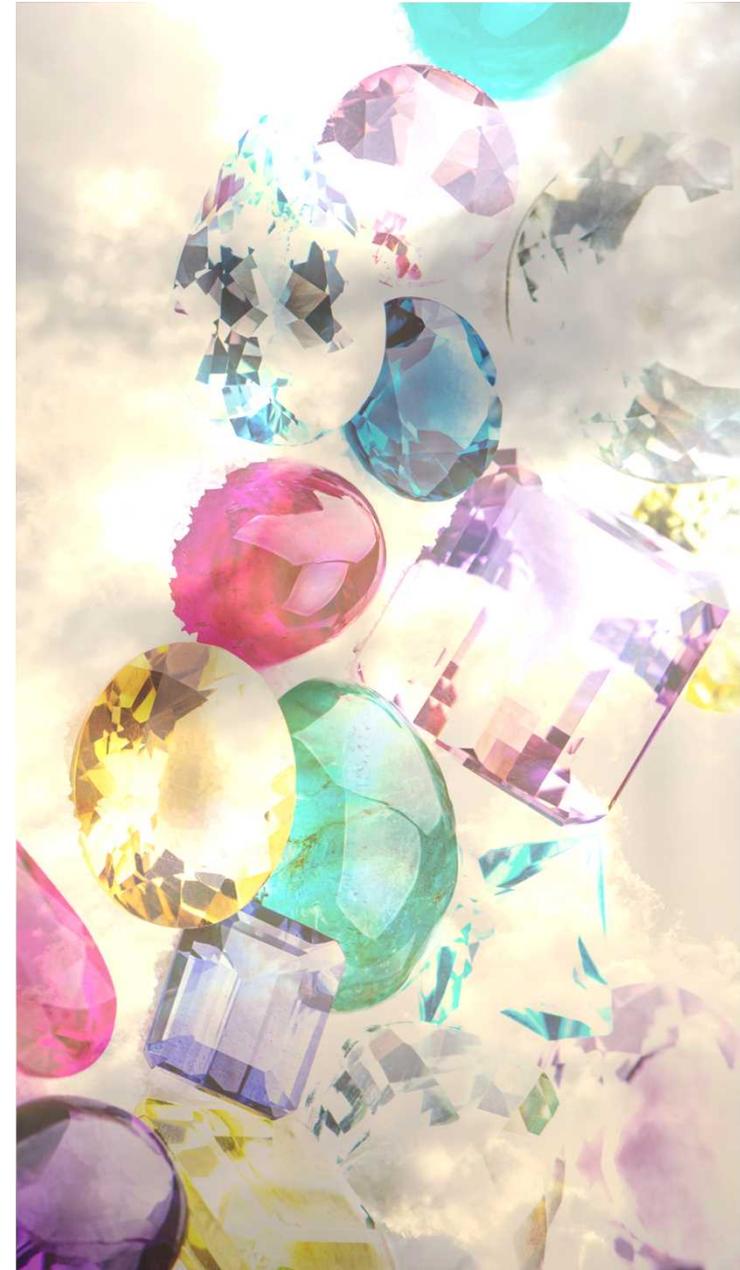
【城壁の土台石と門】 黙示録21:19～21

都の城壁の土台石はあらゆる**宝石**で飾られていた。第一の土台石は碧玉、第二はサファイア、第三はめのう、第四はエメラルド、第五は赤縞めのう、第六は赤めのう、第七は貴かんらん石、第八は緑柱石、第九はトパーズ、第十はひすい、第十一は青玉、第十二は紫水晶であった。

十二の門は十二の**真珠**であり、どの門もそれぞれ一つの真珠からできていた。都の大通りは純金で、透明なガラスのようであった。

■畑に隠された**宝**(ユダヤ人信者) マタ13:44

海の中の**真珠**(離散のユダヤ人信者) マタ13:45



【都の神殿・都の明かり】 黙示録21:22～24

私は、この都の中に神殿を見なかった。全能の神である主と子羊が、都の神殿だからである。

都は、これを照らす太陽も月も必要としない。神の栄光が都を照らし、子羊が都の明かりだからである。

諸国の民は都の光によって歩み、地の王たちは自分たちの栄光を都に携えて来る。

*三位一体の神ご自身が、都の神殿。

*神ご自身の栄光が、都を照らす。

*すべての信者には栄光の体を与えられている。



【子羊のいのちの書】 黙示録21:25～27

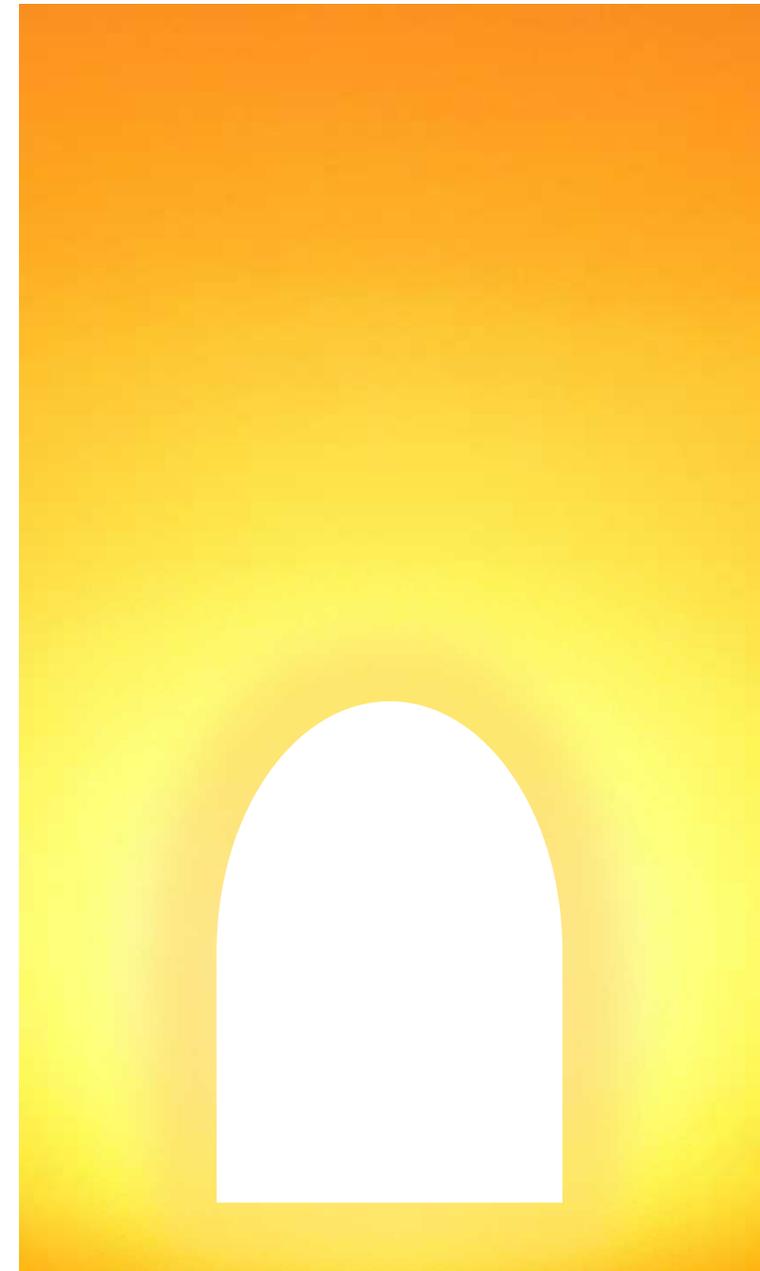
都の門は一日中、決して閉じられない。そこには夜がないからである。

こうして人々は、諸国の民の栄光と誉れを都に携えて来ることになる。

しかし、すべての汚れたもの、また忌まわしいことや偽りを行う者は、決して都に入れない。入ることができるのは、**子羊のいのちの書***に記されている者たちだけである。

***主を信じて救われた者の名が記される書。**

➡いのちの書 ...すべての名が記された書
滅ぶ者の名は消される



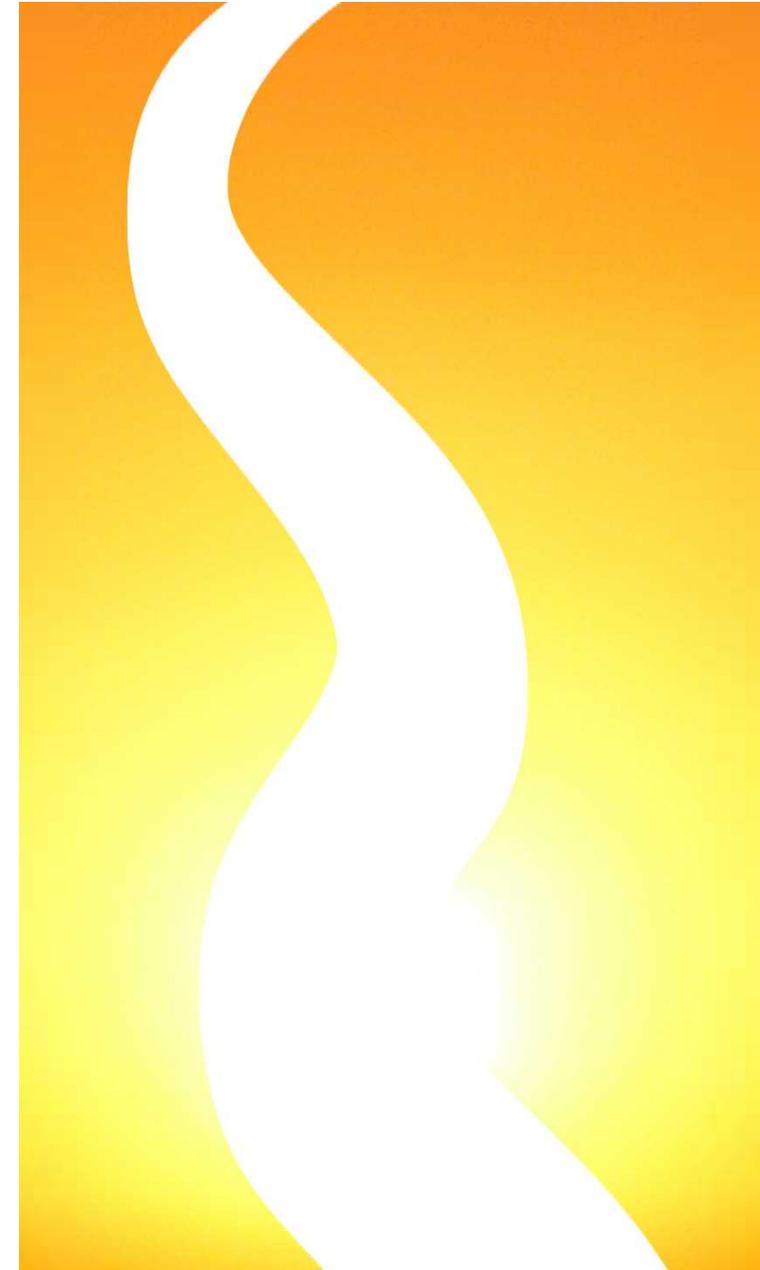
【いのちの川・いのちの木】 黙示録22:1~2

御使いはまた、水晶のように輝く、いのちの水の川を私に見せた。川は神と子羊の御座から出て、都の大通りの中央を流れていた。こちら側にも、あちら側にも、十二の実をならせるいのちの木*があって、毎月一つの実を結んでいた。その木の葉は諸国の民を癒やした。*

*エデンの園にもあった。

➡ 墮罪以降食べることを禁じられた。

* 新天新地に病気はないということ。



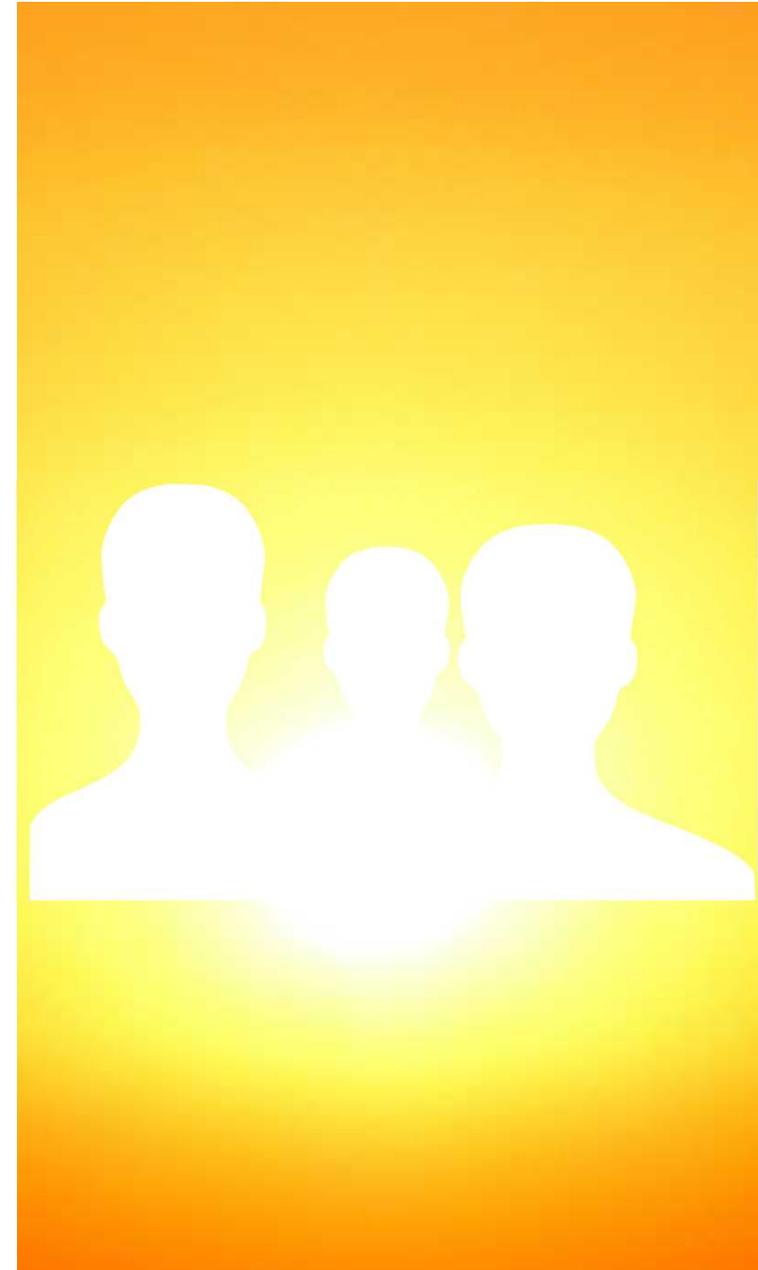
【祝福だけの世界】 黙示録22:3～5

もはや、のろわれるものは何もない。*神と子羊の御座が都の中にあり、神のしもべたちは神に仕え、御顔を仰ぎ見る。*また、彼らの額には神の御名が記されている。

もはや夜がない。神である主が彼らを照らされるので、ともしびの光も太陽の光もいらない。彼らは世々限りなく王として治める。

*神と断絶されたものは、一切存在しない。

*すべての人は恐れなく、ただ主を仰ぎ見る。





II. 聖書の結論 黙示録22:6~21



【黙示録を学ぶ祝福】 黙示録22:6~7

御使いは私に言った。「これらのことばは真実であり、信頼できます。」 預言者たちに霊を授ける神である主は、御使いを遣わして、**すぐに起こるべきこと***をしもべたちに示された。

「見よ、わたしは**すぐに来る。*** この書の預言のことばを守る者は**幸い***である。」

***神の時が来れば、すぐに起きる。時は近い。**

***黙示録を学び、生かす者には祝福がある。**

➡**明確に祝福が約束された特別な書。**

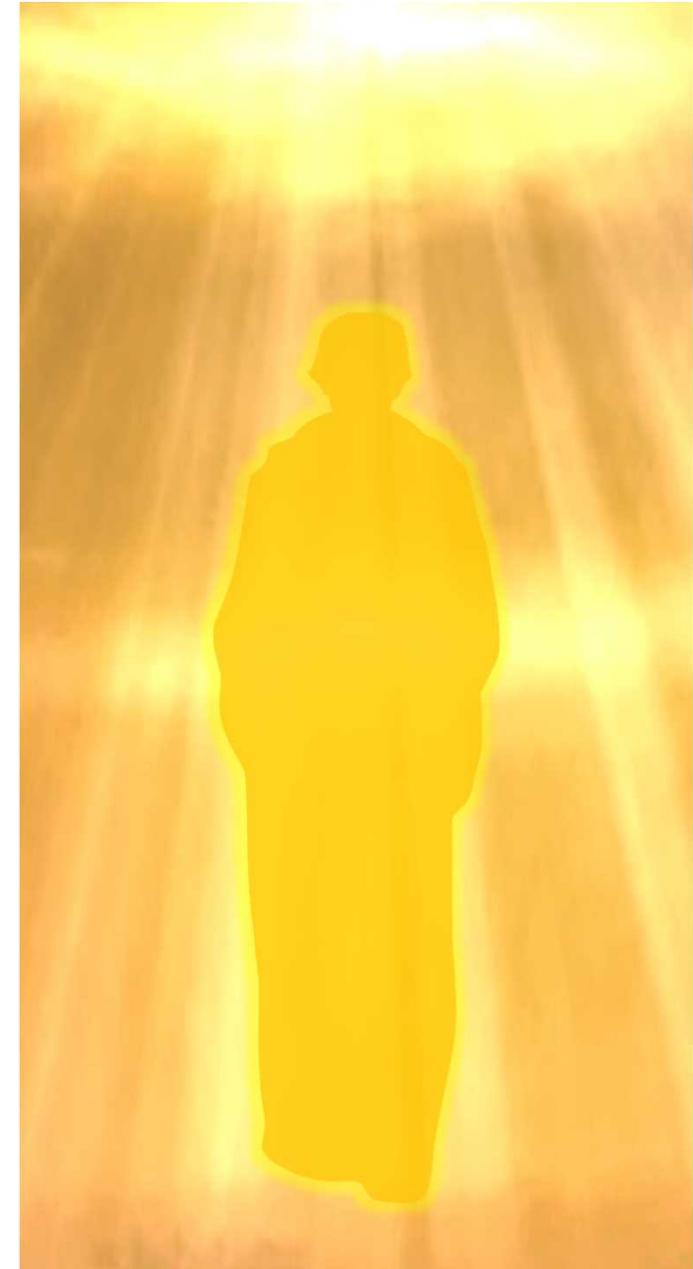


【御使いの制止】 黙示録22:8～9

これらのことを聞き、また見たのは、私ヨハネである。私は、聞いたり見たりした後に、これらのことを示してくれた御使いの足もとにひれ伏して、礼拝しようとした。

すると、御使いは私に言った。「いけません。私はあなたや、預言者であるあなたの兄弟たち、この書のことばを守る人々と同じしもべです。神を礼拝しなさい。」

- 聖書は天使礼拝を堅く禁じる。これも偶像礼拝。
➡ 主イエスは礼拝の対象。断じて天使ではない。



【預言の通りに進む世界】 黙示録22:10～11

また私に言った。「この書の預言のことばを封じてはなりません。時が近いからです。

不正を行う者には、ますます不正を行わせ、汚れた者は、ますます汚れた者とならせなさい。

正しい者には、ますます正しいことを行わせ、聖なる者は、ますます聖なる者とならせなさい。」

■ 世の終わりが近づくにつれ、人の生き方は、善と悪と、ますます両極端に分かれていく。



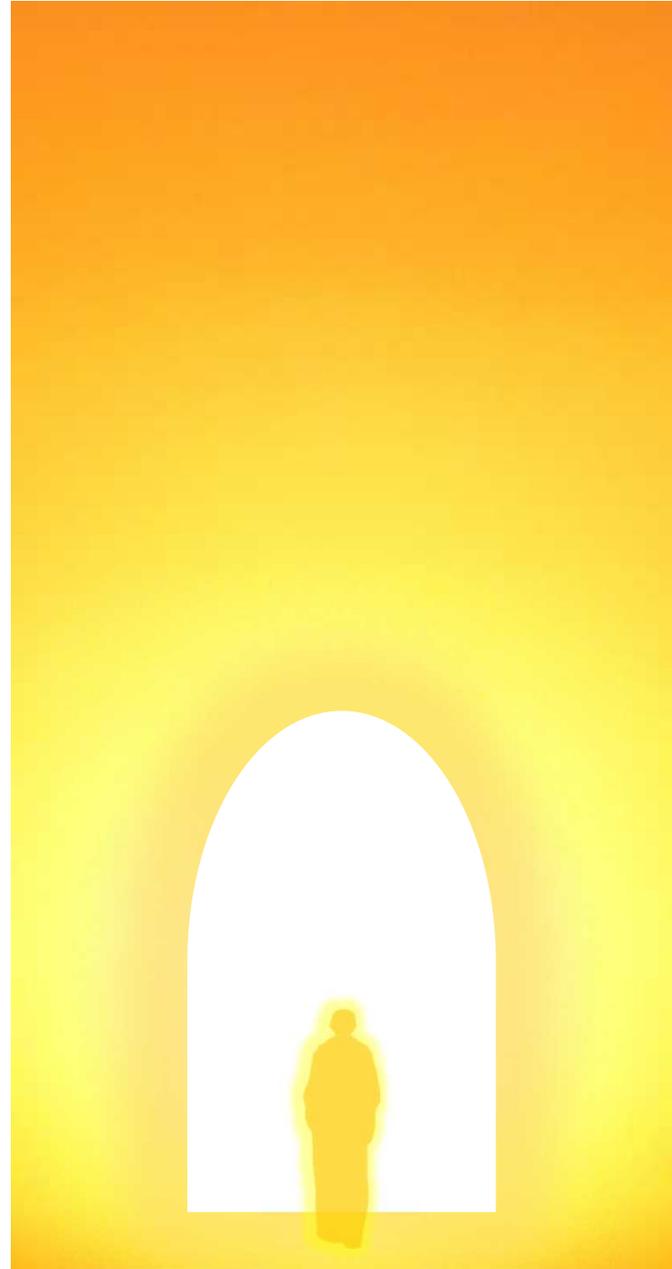
【主イエスの宣言】 黙示録22:12～15

「見よ、わたしはすぐに来る。それぞれの行いに
応じて報いるために、わたしは報いを携えて来る。
わたしはアルファであり、オメガである。最初で
あり、最後である。初めであり、終わりである。」

自分の衣を洗う者たち*は幸いである。彼らはい
のちの木の実を食べる特権が与えられ、門を通っ
て都に入れるようになる。

犬ども、魔術を行う者、淫らなことを行う者、人
を殺す者、偶像を拝む者、すべて偽りを好み、ま
た行う者は、外にとどめられる。

*罪をきよめられ、復活する信者たち。



【主イエスこそメシア】 黙示録22:16～17

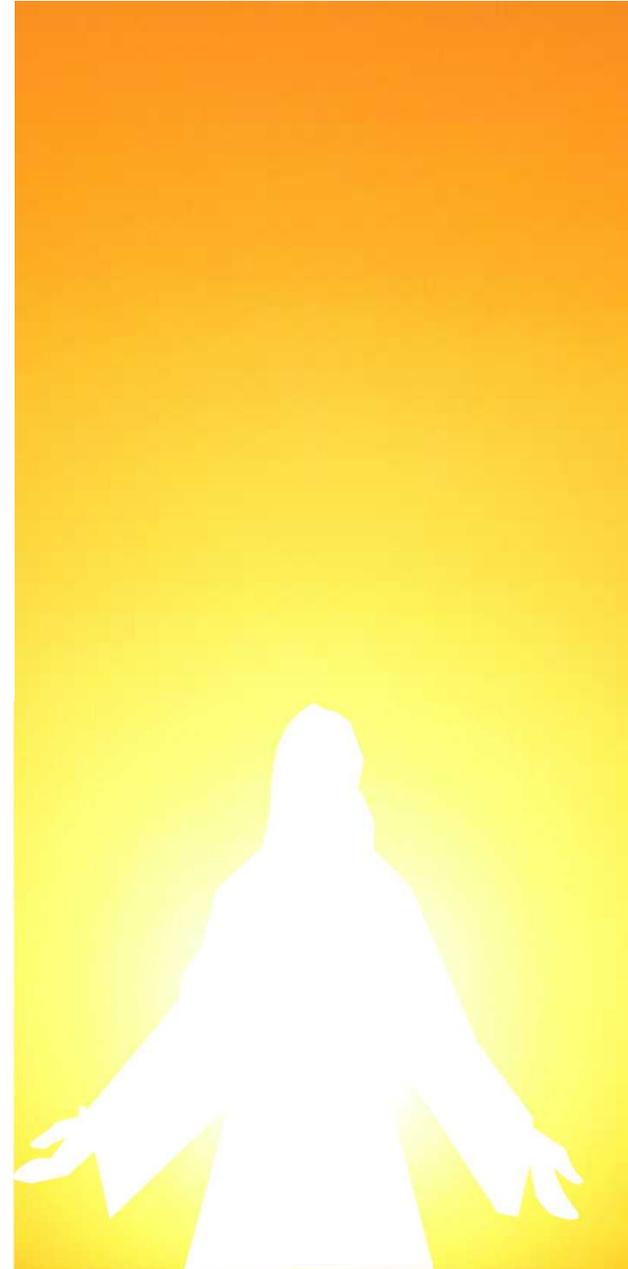
「わたしイエスは御使いを遣わし、諸教会について、これらのことをあなたがたに証した。わたしはダビデの根、また子孫、輝く明けの明星である。」

御霊と花嫁が言う。「来てください。*」これを聞く者も「来てください」と言いなさい。渇く者は来なさい。いのちの水が欲しい者は、ただで受けなさい。

*主イエスに対しては、「来てください。」

人々に対しては、「来なさい。」

■ マラナ・タ「主よ、来たりたまえ」と
主に呼びかけることが求められている。



【警告】 黙示録22:18～19

私は、この書の預言のことばを聞くすべての者に証しする。もし、だれかがこれにつけ加えるなら、神がその者に、この書に書かれている災害を加えられる。また、もし、だれかがこの預言の書のことばから何かを取り除くなら、神は、この書に書かれているいのちの木と聖なる都から、その者の受ける分を取り除かれる。

- 黙示録の預言に、勝手に追記や削除を行う者は、主によって裁かれ、永遠の滅びにいたる。



【マラナタ】 黙示録22:20～21

これらのことを証しする方が言われる。

「しかり、わたしはすぐに来る。」

アーメン。主イエスよ、**来てください。***

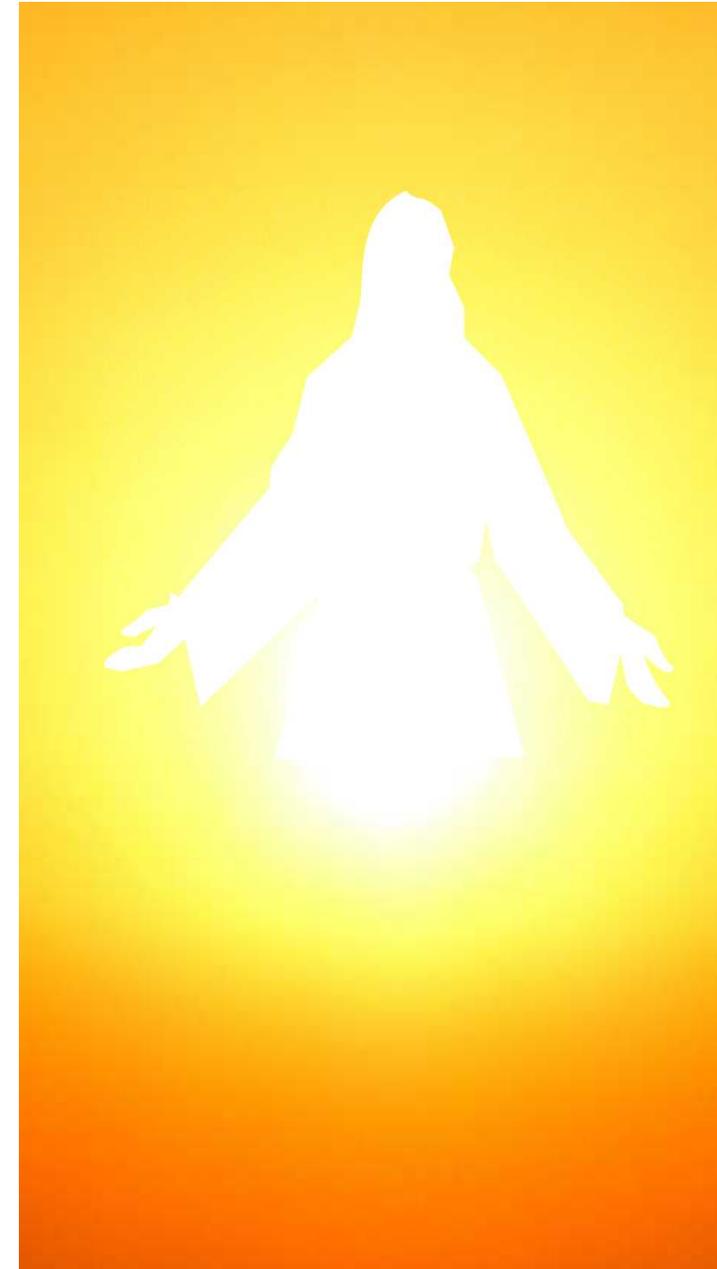
主イエスの恵みが、すべての者とともにありますように。

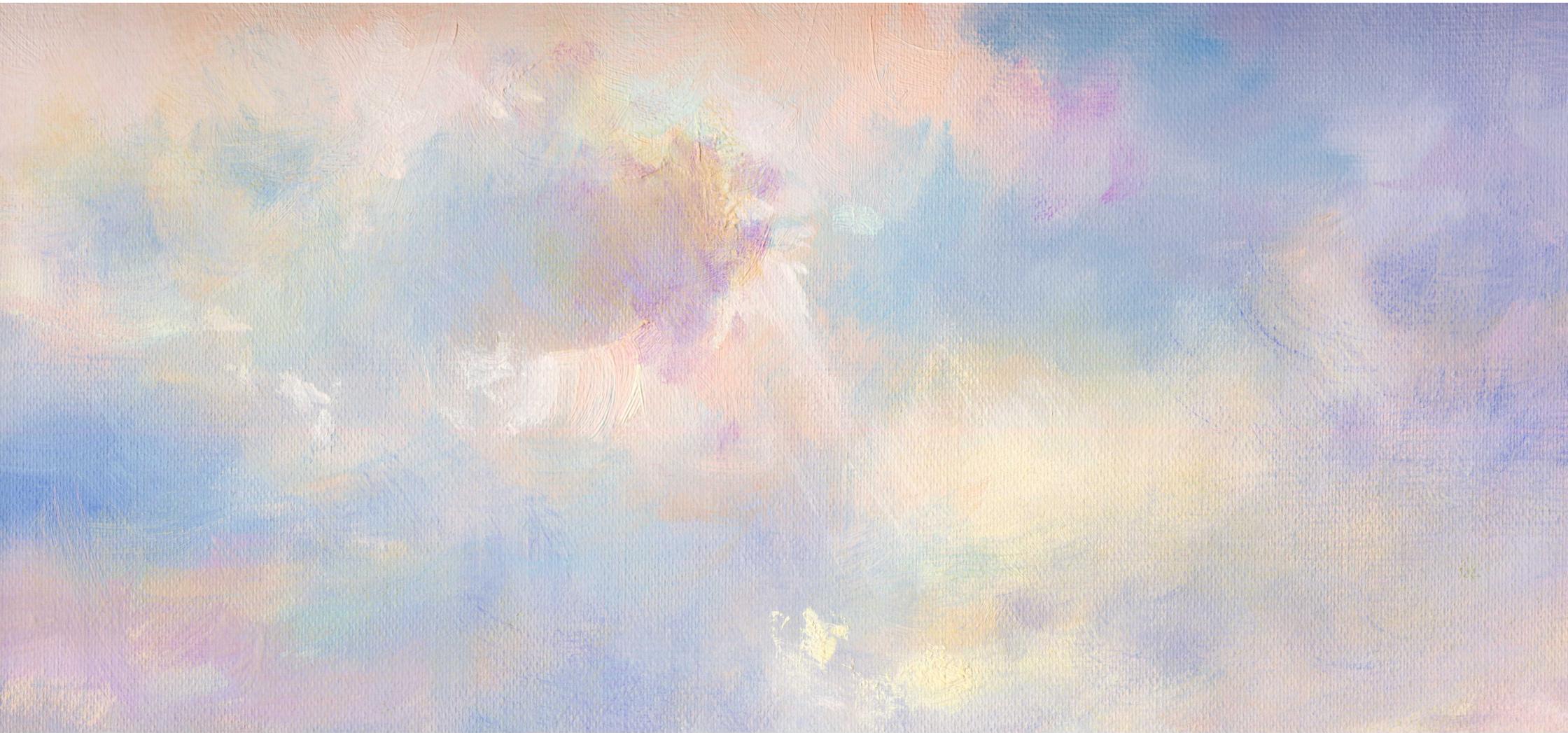
* **マラナ・タ** ...アラム語から来た言葉。

➡ 約時代の聖徒たちの挨拶だった。

■ 主イエスは、すぐにもやってくる。

携拳はいつでも起こり得る。求められる備え。



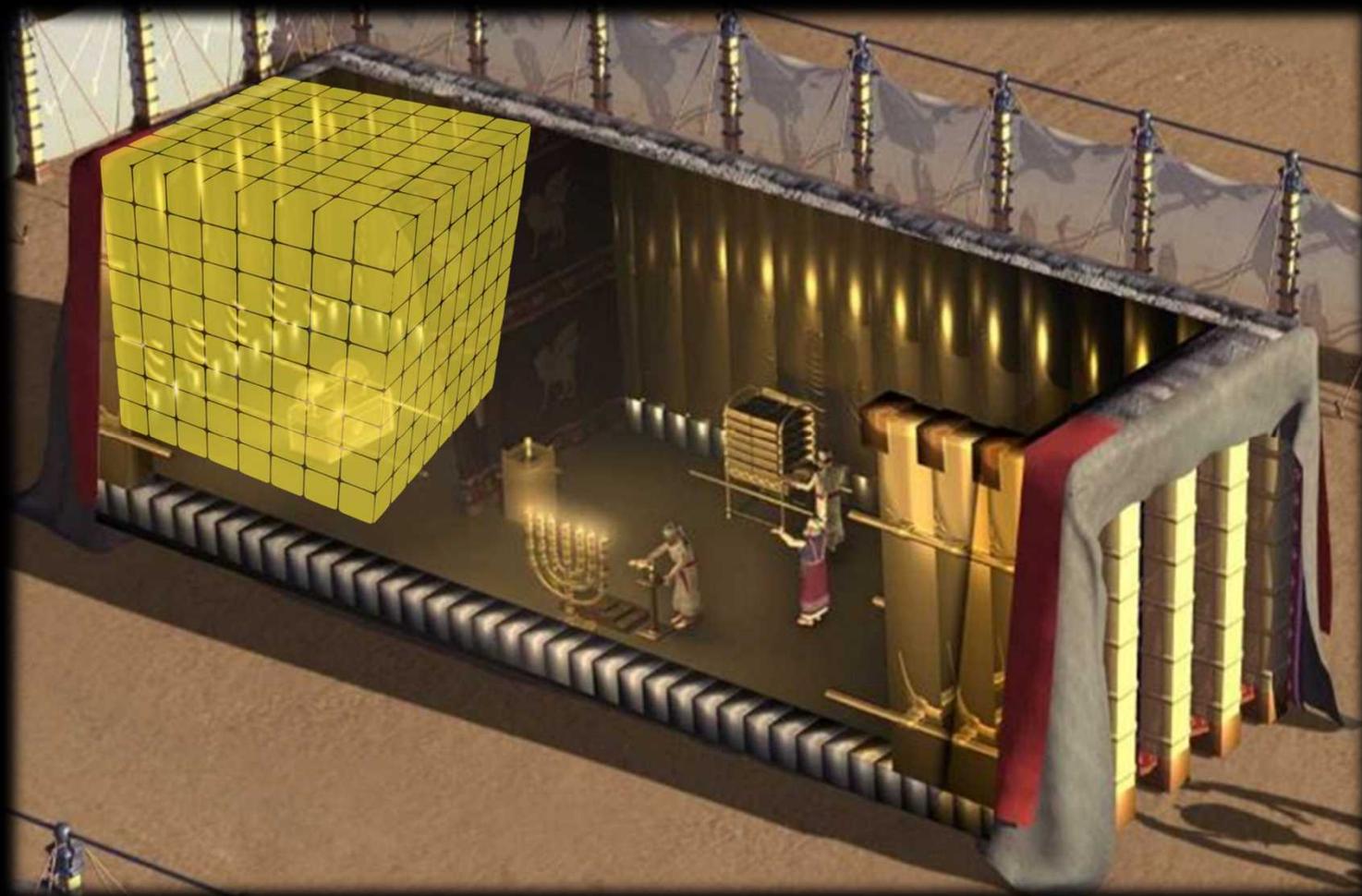


Ⅲ. 究極のゴールを心に刻もう

【幕屋の至聖所は、天のエルサレムの影】

★天のエルサレム
2,200kmの立方体

★至聖所
4.4mの立方体
(50万分の1)



【新天新地とは？】

■完璧な世界。天のエルサレムが地に下りる ➡天地が一体！

■天のエルサレム。三位一体の神が住まわれる永遠の都。

一片2,200kmの巨大な立方体(月の半分の容積)。

東西南北に、イスラエル12部族の名を記した12の門。

城壁(高さ65m)の土台石には12弟子の名が刻まれる。

透き通った純金。城壁は碧玉。土台石は12の宝石。

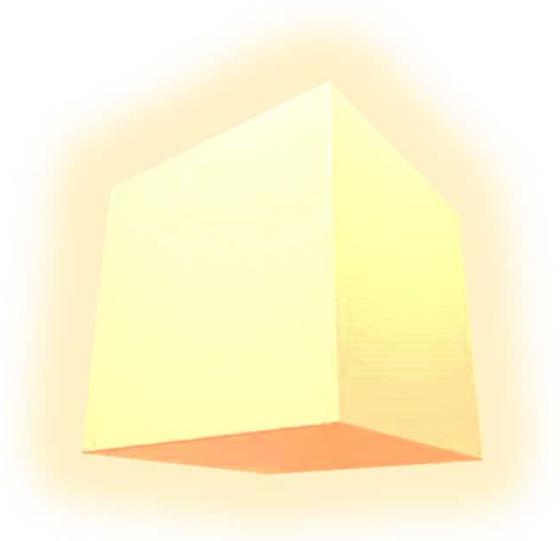
12の門は12の巨大な真珠。

いのちの水の川。12の実を結ぶいのちの木。

■神ご自身が神殿。神の栄光が都の光。

栄光の体となった信者には、病気や苦痛はない。

夜も闇もない。神との断絶も存在しない。



天地創造
創世記1章1節

エデンの園(地)の再創造
創世記1章3〜2節

←天使の
墮落

最初のアダム
←人の墮落

キリストの十字架

最後のアダム
キリストの
再臨→

墮天使(悪魔)の
最終的裁き→

千年王国
黙示録20章1〜6節

新天新地
黙示録21〜22章

現在(教会時代)

新天新地 完全に回復され、完成された世界

■罪によって壊れた世界に生じたもの

・死(神との断絶) ・闇 ・混沌 ・病気 ・争い ・災害 ・恐怖

■新天新地で完全に回復されるもの

・永遠の命 ・神の栄光 ・神の支配 ・神との平和 ・世界平和 ・平安

■サタンと人間の罪によって壊れた**天地の完全な回復**が新天新地。

異なる次元、異なる物質、異なる法則による**全く新しい世界**。

■罪により、地上を去った**神の栄光**が天地のすべてを照らす。

神との断絶はない。死はない。神の内に**すべてが神と共にある**。

【今、現在の視点から】

- コロナ禍に入って1年。大阪で感染爆発。日本に第四波か？
世界的にも、第二波に入りつつある。
- 強力なロックダウンと合わせてワクチン接種を進める国々が沈静化。
 - ➡ 現在唯一の希望がワクチンだが、日本の摂取は遅々として進まず。
 - ➡ コロナ禍をいち早く抜けた国が、次代の主導権を得ていこう。ワクチン接種で頭一つ飛び出ているのが、イスラエル。
- イスラエルは物質的に繁栄し、世界的な影響力も増していこう。一方で、反ユダヤ主義も世界中でこれまでになく高まっていこう。
- 終末のタイムスケジュールは、刻々と刻まれていっている。

【神の計画・これから起きること】

携挙は、いつ起こるか分からない

① 世界大戦
(ホロコースト)

② イスラエル建国
(不信仰なままの帰還)
地震の激増
1948

③ エルサレム支配
(旧市街占領)
1967

④ 北方からの侵略
(イスラエルの
物的繁栄・表面的平和
反ユダヤ主義の高まり)

⑤ 世界統治機構

⑥ 反キリストと
平和条約

大患難時代
(7年間の裁き)

イスラエルの回心

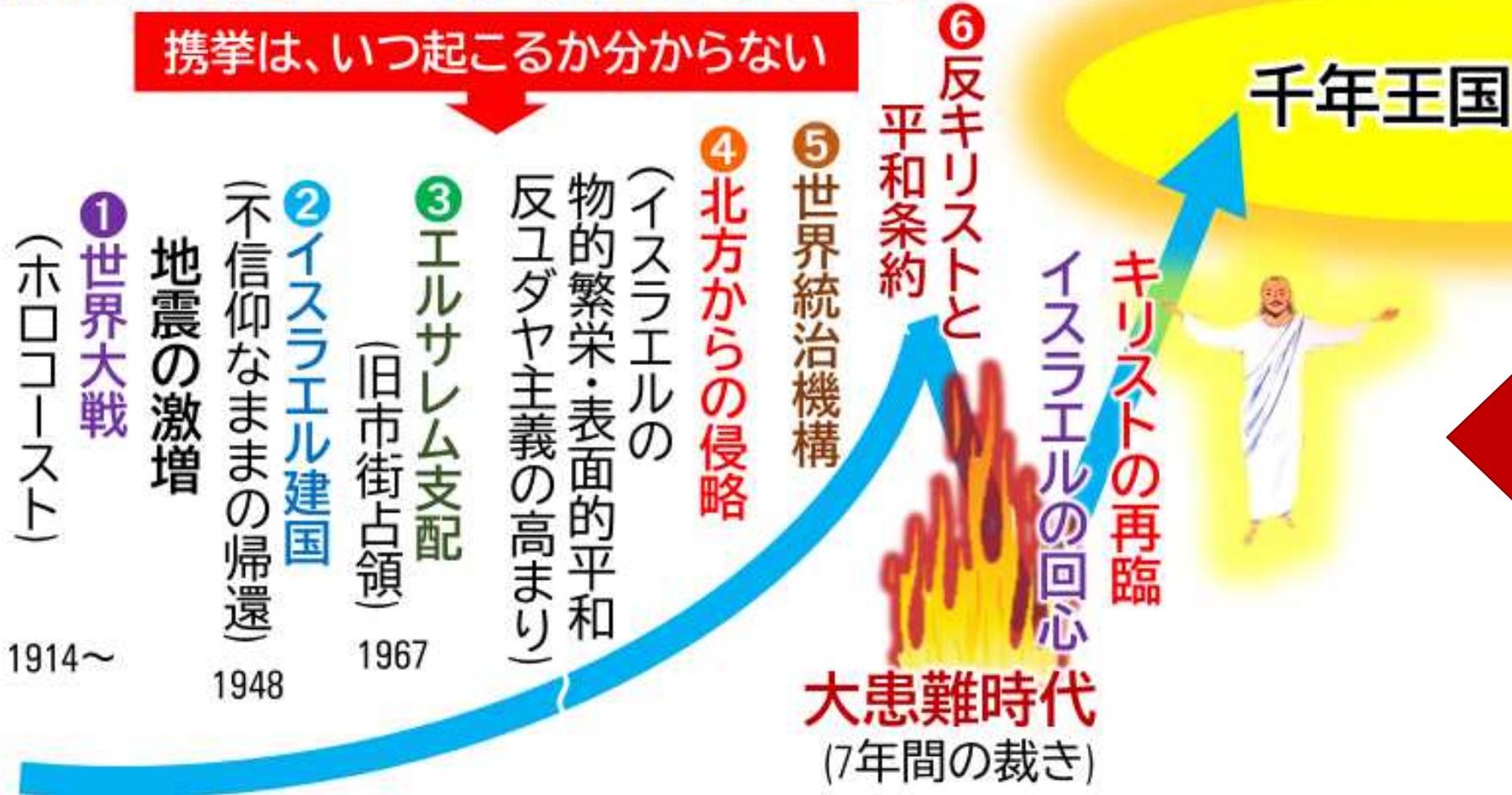
キリストの再臨



千年王国

【神の計画・これから起きること】

携挙は、いつ起こるか分からない



終末のタイムスケジュールは、まだまだ序盤。ただし、携挙はいつでも来る。携挙後は、一気に進むだろう。

惑わされないようにしよう。クリスチャンに求められるのは、長期戦の覚悟をもって、目の前の信仰の戦いに注力すること。

主イエスの終末預言の締め言葉 ルカ福音書21:32～36

「まことに、あなたがたに言います。すべてのことが起こるまで、この時代が過ぎ去ることは決してありません。

天地は消え去ります。しかし、わたしのことばは決して消え去ることがありません。

あなたがたの心が、放蕩や深酒や生活の思い煩いで押しつぶされていて、その日が罨のように、突然あなたがたに臨むことにならないように、よく気をつけなさい。

その日は、全地の表に住むすべての人に突然臨むのです。

しかし、あなたがたは、必ず起こるこれらすべてのことから逃れて、人の子の前に立つことができるように、いつも目を覚まして祈っていなさい。」

【クリスチャンの究極の希望】

- 主に信頼する者は、今の時代の先など読めなくていい。
信仰者が今を生かされる原則を常に確認していよう。

マタイ 6:33 「まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて、それに加えて与えられます。」

- 今の状況も神がゆるされたこと。人と人との関係が絶たれる中で、求められるのは、主に立ち返り、神との絆を堅く結ぶこと。
- 福音を信じた者に約束されている究極のゴールを胸に刻もう。
愚直に、ただ主を信頼して、聖書の学びを重ねていこう。
遙かな将来の確かな希望が、現実を見据え、今を生きる力になる。

「天のお父さま。わたしは、御子イエス・キリストが、

①わたしの罪を贖(あがな)うために十字架で死に、

②墓に葬(ほうむ)られ、

③三日目に復活したこと、を信じます。

主が約束(やくそく)された新天新地(しんてんしんち)を
待(ま)ち望(のぞ)みます。

み言葉の理解(りかい)を深(ふか)め、確信(かくしん)を 強(つよ)めて
いくことができますように。

主の平安(へいあん)で 満(み)たしてください。福音(ふくいん)を
告(つ)げる使者(ししや)として 日々に遣(つか)わしてください。
主イエス・キリストの御名(みな)によって祈ります。

アーメン」